

EXACTECH®膝用  
外科手術手技書



TRULIANT®

プライマリ膝用システム



## 目次

はじめに .....	1
説明 .....	1
適応症 .....	1
禁忌 .....	1
詳細な外科手術手技 .....	2
アプローチおよび露出 .....	2
遠位大腿骨の切除 .....	2
髄管内の切開 .....	2
器具の組み立て .....	3
遠位大腿骨の切除 .....	4
脛骨の配置および切除 .....	6
器具の組み立て .....	6
脛骨の配置および切除 .....	7
非観血的整復法のオプションとしての後十字基準法 (PCRT) .....	10
伸展ギャップの評価 .....	11
大腿骨の回転およびサイジング .....	12
A/P サイザー .....	12
大腿骨の回転およびサイジング .....	12
最後の大腿骨調製 .....	13
Truliant 大腿骨仕上げガイド .....	13
大腿骨仕上げガイドの設置および切除 .....	14
大腿骨トライアルの配置および PS ノッチの調製 .....	16
PS ノッチの調製 .....	17
トライアルの整復 .....	19
脛骨トライアルのコンポーネント .....	19
配置の確認 .....	20
安定性の確認 .....	20
外科的 PS アプローチ .....	21
外科的 CR アプローチ .....	21
可動域の確認 .....	22
最後の脛骨調製 .....	24
脛骨タンブ .....	25
膝蓋骨の調製およびサイジング .....	29
器具の組み立て .....	29
最後のインプラント .....	31
最後の骨調製 .....	31
大腿骨コンポーネントのインプラント .....	32
膝蓋骨コンポーネントのインプラント .....	33
セメントの重合 .....	34
脛骨ポリエチレンインサートの設置 .....	35
最終確認および縫合 .....	36
縫合 .....	36
器具一覧 .....	37
トレーのレイアウト .....	48

## はじめに

人工膝関節置換術の需要が増す中、整形外科医にはこれまで以上により効果的で優れた臨床アウトカムをもたらすことが求められています。Truliant® 膝用システムは、初回全人工膝関節置換術および再置換術における臨床的問題に対応できるソリューションを提供する高性能な包括的プラットフォームです。Exactech の中核原理を活用した Truliant は、高度な設計理念と外科テクノロジーを適用することにより再現性の高い臨床アウトカムの実現を支援します。

## 説明

### 適応症

Truliant 大腿骨コンポーネント、脛骨インサート、および脛骨トレーは、変形性膝関節症、骨壊死、関節リウマチおよび／または外傷後変性関節障害に対する全人工膝関節置換術を受ける骨格的に成熟した患者の治療に適応されます。これらはまた、再建後に問題が残ったが、十分な骨量および軟部組織の完全性が維持されている関節の再置換術にも適応されます。

Truliant 多孔質大腿コンポーネントは、セメントまたはセメントレス固定に適応されます。Truliant セメント固定用大腿コンポーネント、脛骨インサート、および脛骨トレーはセメント固定専用です。

### 禁忌

Truliant 大腿コンポーネント、脛骨インサート、および脛骨トレーの禁忌症は以下のとおりです：

- 全身感染症または二次遠隔感染が疑わしい、あるいは確認された患者
- 適切な挿入やプロテーゼの固定を行うための骨量が十分でない患者
- 適切な安定性を確保するための軟部組織の完全性が十分でない患者
- 関節をコントロールできない精神または神経筋障害を呈する患者
- 体重、年齢、またはその活動レベルにより、システムに過大な負担がかかったり、不具合が早期に起こったりしうる患者

Truliant 膝用システムの採用についてご検討ください誠にありがとうございます。Truliant の開発に携わるチームのメンバーとして、私共は全人工膝関節置換術に残る臨床的問題に対応できる好機があると考える領域を特定するため、持てる経験と知識を活用しました。私共が目標とするのは、インプランツ法オプションの包括的ポートフォリオをご提供するだけでなく、より高い効率性と総体的再現性を実現するために手技を合理化し、直感的器具の使用を可能とする膝用システムを開発することです。以下の設計目標が Truliant プライマリシステムの基盤となっています：

- 様々な患者の解剖学的形状に対応する幅広いインプランツ法のオプションを提供して患者アウトカムを改善し、外科医の満足度を高める。
- より高い効率性と総体的再現性を実現するため、容易に使用でき、また、術中に可視的、可聴的、触知的フィードバックを提供して直感的使用を可能とする器具を開発する。
- 多様な外科的アプローチと理念に十分に対応できる汎用性の高いシステムを設計する。

皆様が弊社のシステムをご使用になり、初回人工膝関節置換術の成功に弊社製品が寄与できることを心よりお待ちしております。

### 敬具

**H. Morton Bertram III, MD**

**Michael Dayton, MD**

**Richard Friedman, MD**

**Chul-Won HA, MD, PhD**

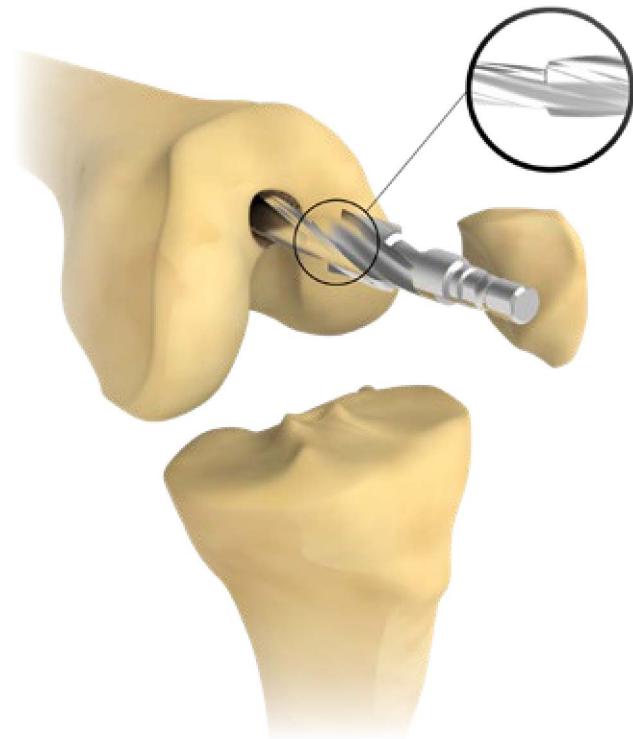
**Sudheer Karlakki, MD, FRCS, MSc'**

**J. Craig Morrison, MD**

**Bruno Violante, MD**

## 詳細な外科手術手技

### 手術手技



**図 1**  
IM パイロットドリルを使用して髄管内に進入します

#### アプローチおよび露出

切開および露出には外科医が好適とする手技を使用してください。

#### 遠位大腿骨の切除

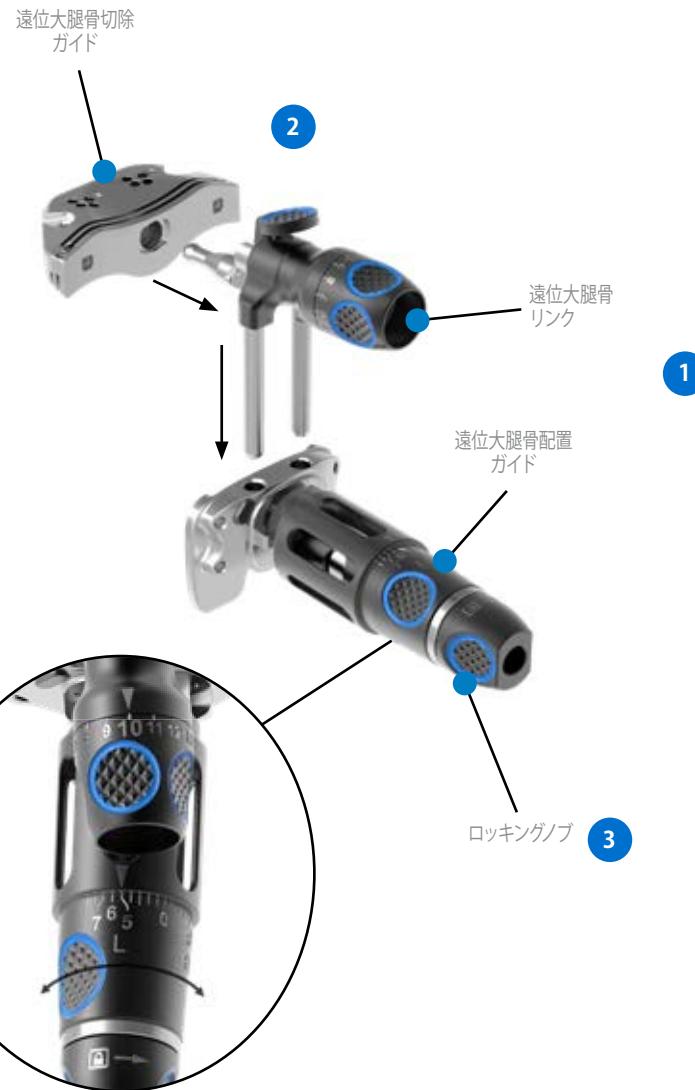
#### 髄管内の切開

遠位大腿骨に対する大腿骨内膜管と同軸上の孔形成には、髄管内パイロットドリルを使用します（図 1）。このドリルの進入点は頸間窩から 5 ~ 10 mm 上方の頸間溝内に位置します。

階段状に設計されたパイロットドリルは、遠位大腿骨の孔形成

と同時に孔を拡大するため、わずかな進入点の偏位があった場合でも IM ロッドの配置には影響しません。IM パイロットドリルを用いた髄管の露出が完了後、IM ロッドを大腿骨髄管に挿入し、容易に挿入が可能であることを確認します。さらに、モジュラー T-ハンドルを使用して IM ロッドを髄管から取り出すか、またはモジュラー T-ハンドルのみを取り出し、ロッドを髄管内に残します。

#### 器具の組み立て



#### 遠位大腿骨配置ガイド

1. Truliant 遠位大腿骨リンクを Truliant 遠位大腿骨配置ガイドに挿入します
2. Truliant 遠位大腿骨切除ガイドを遠位リンクに固定します
3. 配置ガイドのダイアルを適切な側（左または右）に回して好適な目盛り（0 ~ 9 度）に設定し、大腿骨の骨切りに好適な外反角度を設定します

#### 遠位大腿骨の切除

## 詳細な外科手術手技

### 手術手技



図 2

遠位大腿骨カッティング組立器具を遠位大腿骨に配置します



図 3

遠位大腿骨切除の深さを設定します

Truliant モジュラー T-ハンドル／IM ロッドを配置ガイドの孔に差し込んで配置し、組み立てられた器具を遠位大腿骨に差し込みます（図 2）。配置ガイド端にあるノブを使用して、組立器具を IM ロッドにロックすることも可能です。遠位リンクのダイアル（1～14 mm）を 1 mm 単位で回して遠位大腿骨切除の深さを設定します（図 3）。

骨の形状により適合させるため、切除ガイドは取り付けペグを

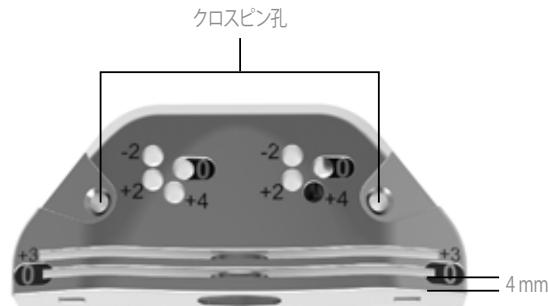


図4  
遠位大腿骨切除ガイド



図5  
遠位大腿骨カッティング組立器具の取り外し

図6  
遠位大腿骨の切除

軸にして回転させることができます。ピンがIMロッドに干渉しない程度に回転させてください。

切除ガイドを「0」と標識された孔でピン留めします。切除ガイドには、ピン留め後の切除の深さの微調整用にシフトピン孔および予備のカッティングスロットが備えられています（±2および+4ピン孔、+3 mm 予備カッティングスロット）。切除ガイドをより安定化させるためのクロスピン孔が2つ用意されています。

切除の際に、切除ガイドの遠位平面を使用する場合、標準スロットを使用する場合より骨が4 mm 手前で切除されます（図4）。切除は8～10 mm が一般的であり、8 mm の切除はインプラントの厚さと一致します。

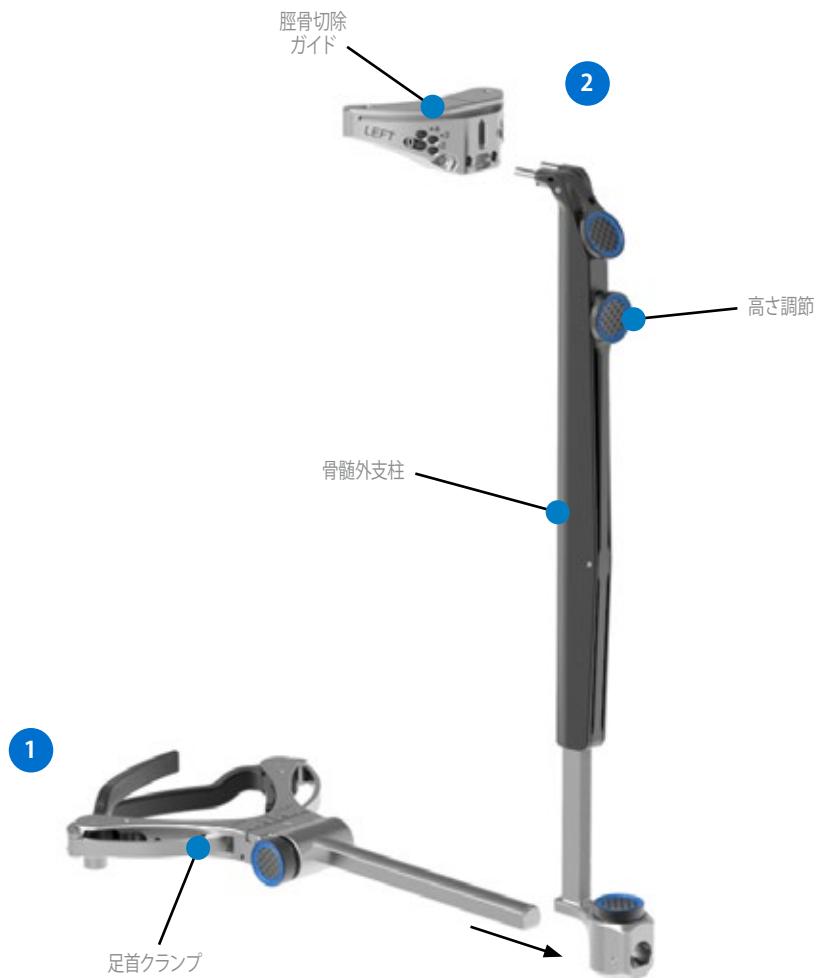
遠位リンクの上部にあるボタンを押し、骨から組立器具を引き抜き、モジュラーT-ハンドル／IMロッド、遠位リンク、および配置ガイドをすべて取り外します（図5）。遠位大腿骨の切除が完了しました（図6）。

**備考：**Truliant 切除ガイドの全種に対し 1.27 mm の鋸身が推奨されます。

切除ガイドはこの時点で取り外します。

# 詳細な外科手術手技

## 手術手技



### 脛骨の配置および切除

#### 器具の組み立て

##### 骨髓外 (EM) 脛骨配置ガイド

1. Truliant 足首クランプの軸棒をボタンを押しながら Truliant EM 支柱の下端にスライドさせて差し込みます。足首クランプ上の標識は上方を向くようにしてください。
2. 支柱の最近位にあるボタンを押して、Truliant 脣骨切除ガイドを支柱に取り付けます。

支柱にあるボタンを押すと、支柱の高さを調整できます。ボタンを離すと高さがロックされます。



図 7

骨髓外脛骨配置ガイドの設置

図 8

EM 脣骨配置ガイドの遠位端が  
足関節の中心に位置するようにします

### 脣骨の配置および切除

足首クランプの2つのアームがロックされるまで開きます。足首クランプのアームが開いた状態で組立器具を脣骨に押し付けると、アームが足関節の果上周囲を取り囲みます（図7）。

EM 脣骨配置ガイドは、足首クランプのボタンを押し、EM 脣骨配置ガイドを内方向または横方向にシフトさせると位置を調整することができます（図8）。EM 脣骨配置ガイドの遠位端が足関節の中心に位置するようにします。足首クランプが正しく設置されている限り、ほとんどの場合で目盛りが2～5 mm 内側を示します。

脣骨切除ガイドを中心近位に置くと、標認点には前脣骨粗面および脣骨棘の内側1/3が含まれます。矢状面中では、脣骨の軸は膝関節の中心から足関節の中心へと伸びる線とすることできます。

## 詳細な外科手術手技

### 手術手技



図 9

脛骨後方スロープを調節します



図 10

Truliant アジャスタブル脛骨スタイルスを  
Truliant 脛骨切除ガイドに配置します

脛骨切除ガイドの後方スロープは、足首クランプに取り付けた支柱を前後方向にシフトさせて調整することができます。支柱の遠位にあるボタンを押し、支柱の前後位置および脛骨切除ガイドのスロープをシフトさせた後、ボタンを離し、選択したスロープでロックします（図 9）。近位脛骨の骨切りの矢状面方向を設定する際には、中間位後方スロープ 0 ~ 3 度が推奨されます。前方スロープおよび過剰な後方スロープを避けることが重要です。

**備考：**支柱の配置は、足首クランプの軸棒中間程度（または脛骨から指幅 3 ~ 4 本）より開始し、そこから必要に応じて調整することが推奨されます。

好適なスロープが設定されたら、Truliant アジャスタブル脛骨スタイルスを使用して切除の高さを設定することができます。脛骨スタイルスの足部を脛骨切除ガイドのカッティングスロットに差し込みます。切除レベルは、アジャスタブルスタイルスの上部にあるダイアルを回してスタイルスの先端から好適な深さ（0 ~ 14 mm の範囲）に調整することができます（図 10）。アジャスタブルスタイルスが目標とする脛骨プレートを基準にできるように支柱の高さを調整します。



図 11

骨髄外標認点を基準として配置を評価します



図 12

Truliant 脛骨切除ガイド

脛骨切除レベルおよびスロープを評価するには、Truliant カットラインプレディクターを使用することもできます。脛骨切除ガイドに好適な切除レベルおよびスロープが設定されたら、ピン留めすることができます。ドリルのピンは「0」と標識された孔に差し込んでください。

オプション：脛骨切除ガイドが適切に配置されたら、配置ロッドハンドルを脛骨切除ガイドのスロットに差し込み、切除ガイドの位置を確認することができます。その後、配置ロッドはハンドルの孔またはスロットに差し込み、骨髄外の標認点との位置関係を評価するために使用することができます（図 11）。

「0」と標識された孔にピンを差し込んだ後、脛骨切除ガイドを -2 mm、+2 mm、または+4 mm のシフト孔のいずれかにシフトさせ、2 mm 単位で近位または遠位方向に調整することができます。脛骨切除ガイドの近位平面上で切除を行った場合、骨が 4 mm 手前で切除されます（図 12）。脛骨切除ガイドには、骨切除中にさらなる安定性を確保するクロスピン孔も用意されています。

近位脛骨の切除に着手してください。

## 詳細な外科手術手技

### 手術手技

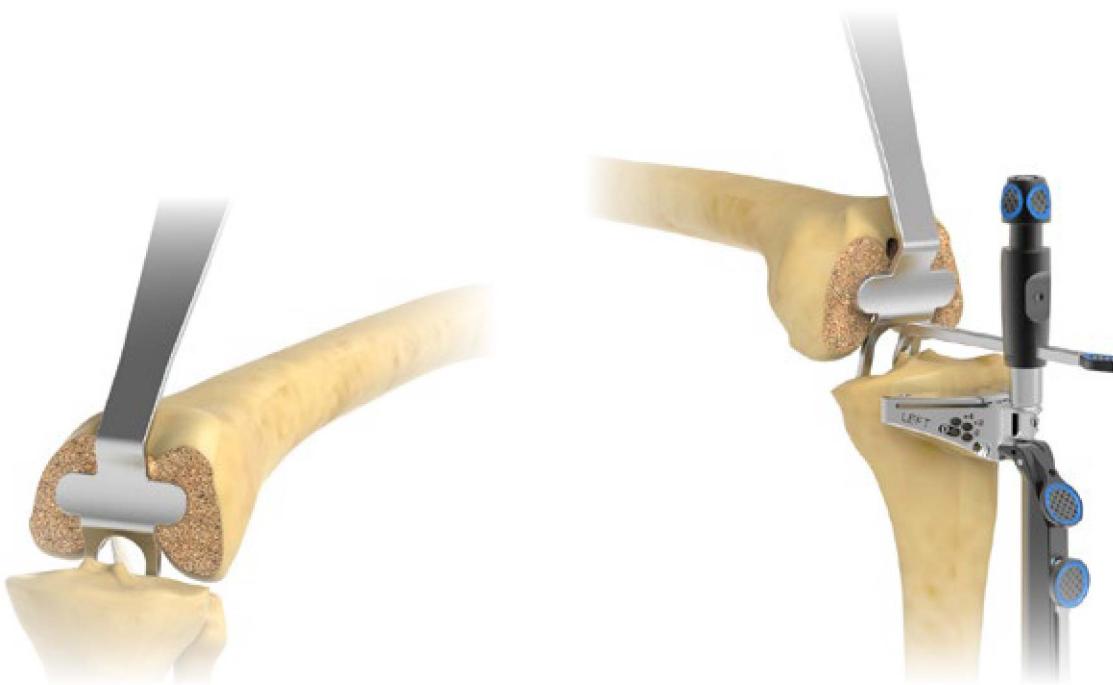


図 13

Truliant PCL 開創器の設置

図 14

脛骨切除の深さを決定します

#### 非観血的整復法のオプションとしての後十字基準法（PCRT）

PCRT 外科手術手技は、後脛骨の後十字靱帯（PCL）付着部の完全性を確保しながら脛骨の切除の深さの設定を可能にする手技です。PCL 開創器の片方のプロングを PCL の内側に、もう片方のプロングを PCL の側面に対し水平にして脛骨の背面に配置します。脛骨の後縁を大腿骨に対して前方に亜脱臼させます。この時点で PCL 開創器は PCL および遠位大腿骨の切除面の両方を保護しているはずです（大腿骨を第一とする順序である場合）（図 13）。PCL の脛骨付着部の前面周囲に通常存在する結合組織および／または瘢痕組織を、後頸骨神経内に付着する部位で PCL の繊維が露出されるまで切離します。また、半月大腿靭帯に残った後角をすべて切除することも推奨されます。

Truliant EM 脛骨配置ガイド、脛骨切除ガイド、および脛骨スタイルスは上記のとおり配置します。

PCRT のアプローチでは、脛骨プラターの後面に至るまでスタイルスを伸長させてスタイルスの先端を PCL への進入点に配置し、靱帯付着部の直接的基準とします（図 14）。スタイルスを 0 mm に設定すると、丁度脛骨切除がスタイルスの先端上に位置します。スタイルスを他の目盛りに設定する場合、その目盛りの数値はスタイルスの先端から遠位脛骨の切除位置までの距離を表しています。スタイルスは 2 mm に設定することが推奨されます。これにより、脛骨切除はスタイルスの先端から下方に 2 mm の位置になります。



**図 15**  
伸展時のスペーサーブロックを使用したギャップ評価

PCRT アプローチでは、中間位脛骨スロープには 0 ~ 3 度が推奨されます。後側脛骨スロープを増やすと（5 度超）、PCL の脛骨付着部を損傷する可能性があります。インサートの過剰な後脛骨スロープ（すなわち、近位脛骨切除および脛骨のインサートの後方スロープの組合せ）は、脛骨のインサート後面部の摩滅の加速に繋がります。

脛骨切除ガイドを好適な位置に配置したら、ガイドを「0」と標識された孔でピン留めし、上記のとおり近位脛骨の切除に着手してください。

#### 伸展ギャップの評価

脚を完全に伸展させ、Truliant スペーサーブロックの然るべき一端を 2 つの切除面間に配置して伸展ギャップを確認します（図 15）。9/11 mm スペーサーブロックは 1 mm シムの両端に接続し、10 mm および 12 mm 厚の評価に使用します。

13/15 mm スペーサーブロックは 4 mm シムの両端に接続し、17 mm および 19 mm 厚の評価に使用します。

好適な伸展ギャップを得るため、軟部組織の切離および追加的骨切除を施すこともできます。

**備考：**スペーサーブロックは、Truliant 大腿骨仕上げガイドの設置後、または後顆切除後の屈曲スペースの評価にも使用することができます（大腿骨仕上げガイドの底面を基準として黒色の 4 mm 薄いスペーサーブロックを使用します）。

必要であれば、配置ロッドをスペーサーブロックの孔またはスロットに差し込み、配置を評価することができます。

## 詳細な外科手術手技

### 手術手技

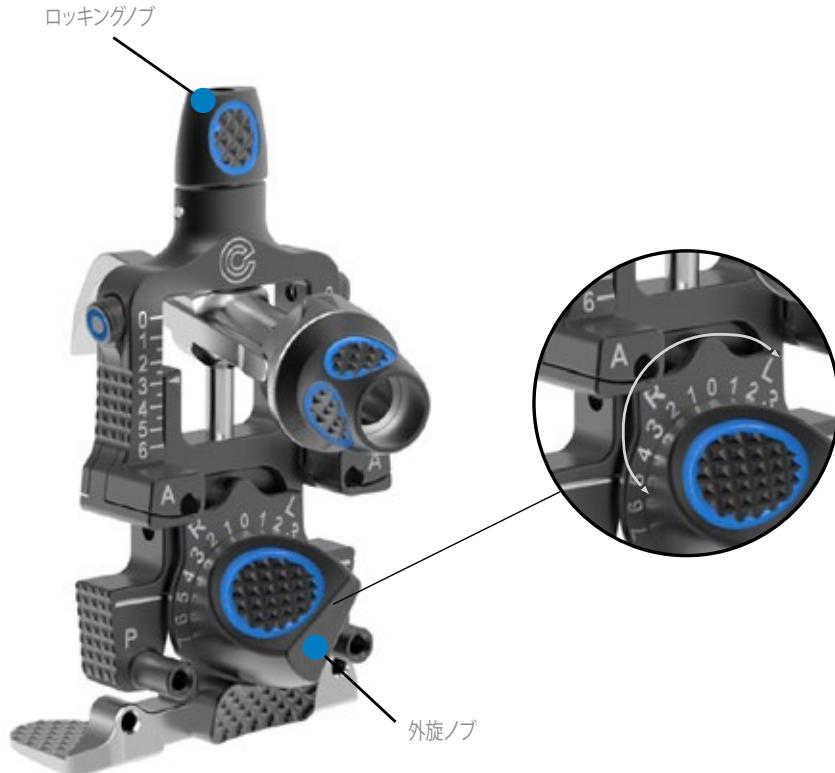


図 16  
A/P サイザー

#### 大腿骨の回転およびサイジング

##### A/P サイザー

Truliant A/P サイザー（図 16）は、前側基準および後側基準法の両方にに対応します。前側基準ピン孔を選択すると、サイズに関わらず基準線として一定距離ごとに前側が骨切りされます。骨切りのサイズのバリエーションの変化はいずれも後側の骨切り箇所に起こります。

これに対し、後側基準ピン孔を選択すると、サイズに関わらず一定距離ごとに後側が骨切りされます。骨切りのサイズのバリエーションの変化はいずれも前側の骨切り箇所に起こります。

A/P サイザーの前面にあるダイアルを 0 ~ 7 度の範囲で 1 度ずつ左右のいずれかに調節することにより、大腿骨外旋を設定することができます。

#### 大腿骨の回転およびサイジング

A/P サイザーは切除した大腿骨の遠位面にぴったりと接触するように設置する必要があります。

A/P サイザーの後足部は大腿骨後頸の下側に挿入する必要があります。後頸に欠損が生じている場合は、欠損をカバーする位置まで A/P サイザーを回転させる必要があります。必要であれば、ヘッドピンを後足部の固定孔に挿入し、A/P サイザーを固定します。A/P サイザーの本体に標識された水平線と垂直の軸棒を基準とし、後頸軸から上頸軸を結ぶ線 (TEA) および遠位大腿骨の Whiteside line に対して解剖学的配置を確認することができます。

A/P サイザーは大腿骨のサイズに合わせて調整します。A/P サイザースタイラスの先端は四頭筋の下側、膝蓋上囊部中に位置している必要があります。スタイラスの位置を調整するには、

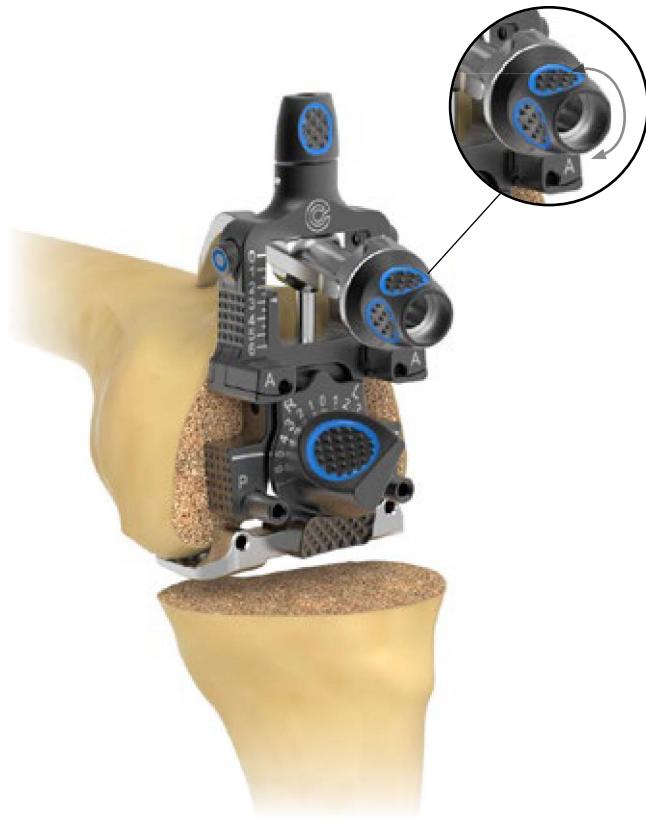


図 17

大腿骨 A/P サイザーを遠位大腿骨に配置し、ピンで固定します

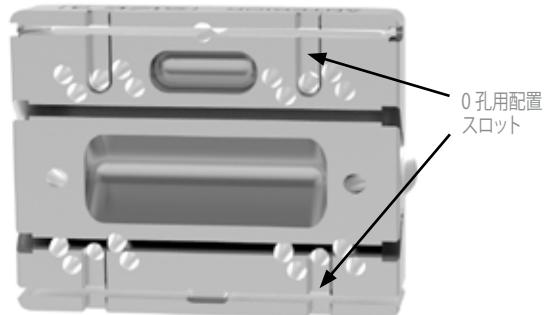
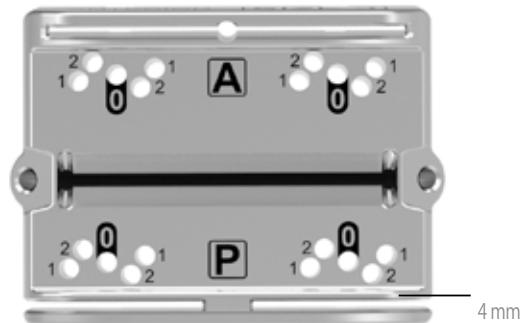


図 18

Truliant 大腿骨仕上げガイド

A/P サイザーの前面が表示する大腿骨のサイズに対応したサイズまでダイアルを回します。

A/P サイザーが遠位大腿骨表面にぴったりと接触していることを確認し、前側基準を表す「A」と標識されたピン孔または後側基準を表す「P」と標識されたピン孔のいずれかにヘッドなしドリルピンを差し込み、A/P サイザーをピン留めします（図 17）。A/P サイザーの上部にあるノブを使用すると、本体の位置をロックすることができます。

その後、2 本の配置ピンを所定の位置に残したまま A/P サイザーを骨から取り外します。

前側基準ピン孔を使用している場合は、本体の両側にある 2 つのボタンを押し、「A」と標識されたピン孔からピンを取り出します。

**備考：**スタイルスを滑車から遠ざける方向に回転させると、A/P サイザーを取り外しやすくなります。

#### 最後の大腿骨調製

#### Truliant 大腿骨仕上げガイド

A/P サイザーと同様に、Truliant 大腿骨仕上げガイドは前側基準および後側基準法の両方に対応しており、対応する大腿骨コンポーネントの ML 寸法と同一寸法となっています。

Truliant 大腿骨仕上げガイドでは、シフト孔を使用することで大腿骨コンポーネントの A/P 位置を 1 mm または 2 mm の単位で微調整することができます（図 18）。これにより、屈曲ギャップのバランスがとれ、anterior notching と呼ばれる前部断片消失のリスクを最小化することができます。

## 詳細な外科手術手技

### 手術手技



図 19

大腿骨仕上げガイドの設置



図 20

スペーサーブロックを使用した屈曲スペースの評価

**備考：**Truliant 大腿骨コンポーネントのサイズは、A/P 方向に平均 2 mm 増加します。そのため、シフト孔を使用してサイズのアップサイジング時またはダウンサイジング時の切除位置を予測することもできます。

#### 大腿骨仕上げガイドの設置および切除

A/P サイザーに示された大腿骨のサイズに一致する大腿骨仕上げガイドのサイズを選択し、前述のサイジング段階で遠位大腿骨に残置された配置ピン上に配置します。大腿骨仕上げガイドの背面にある配置スロットを使用し、「0」と標識されたピン孔にピンをスライドさせて差し込みます（図 19）。前側基準法に従っている場合は、「A」と標識された「0」ピン孔を使用している必要があります。対して、後側基準法に従っている場合は、「P」と標識された「0」ピン孔を使用している必要があります。

骨切除を開始する前に、大腿骨仕上げガイドの底面の平面に設置されたスペーサーブロックを使用して、屈曲スペースの確認を行うことができます（図 20）。後側スロットと大腿骨仕上げガイドの距離は 4 mm であるため、選択したスペーサーブロックは目標スペースより 4 mm 短くなっているはずです。Truliant カットラインプレディクターは、この微調整段階中の大腿骨仕上げガイドの位置評価に役立ちます。

**備考：**前側基準ピン孔を使用している場合、大腿骨コンポーネントのサイズを変えると後顆切除に影響するため、屈曲スペースにもその影響が及びます。後側基準ピン孔を使用している場合、大腿骨コンポーネントのサイズを変えると前側切除レベルに影響するため、anterior notching のリスクを増減します。



図 21  
大腿骨仕上げガイドを 2 本のヘッドピンで留めます

大腿骨仕上げガイドが適切に配置されたら、ヘッドピン 2 本を側面にあるピン孔に差し込んで固定します（図 21）。大腿骨仕上げガイドが確実に固定され、遠位大腿骨にぴったりと接觸しているか確認します。その後、サイズ揃えピンを取り除き、前側

および後側の骨切りを施した後、面取りを施します。遠位大腿骨の骨切りが完了したら、大腿骨仕上げガイドおよびピンを取り外します。

## 詳細な外科手術手技

### 手術手技



図 22  
Truliant 大腿骨トライアル

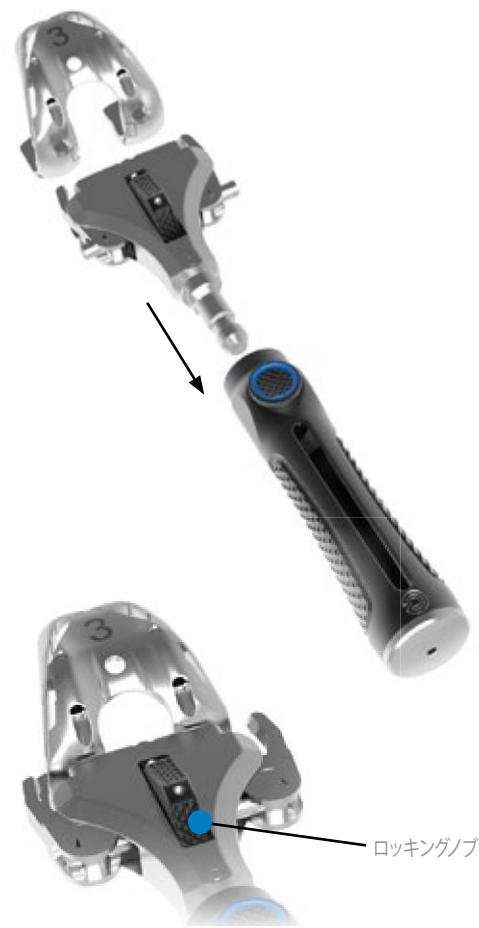


図 23  
ロッキング大腿骨インパクターを使用して  
大腿骨トライアルを配置します

**備考:** インパクションの影響を受ける器具が正しく機能するかを確認するには、目視で破損がないかを評価してください。破損または不具合が認められた場合は、残屑が創傷部に飛散していないかを確認してください。破損した器具は隔離後、製造元に返却してください。

#### 大腿骨トライアルの配置および PS ノッチの調製

あらかじめ設定された大腿骨コンポーネントのサイズに対応した Truliant 大腿骨トライアルを選択します。大腿骨トライアルの参照窓から左右コンポーネントのインプラントの外形を確認することができます（図 22）。

Truliant ロッキング大腿骨インパクター（図 23）を使用して大腿骨トライアルを遠位大腿骨に配置し、大腿骨コンポーネントの適切な ML 位置に固定します。コンポーネントを配置する際に、モジュラーハンドルに軽く上方の圧をかけ、インパクションを行う際に大腿骨コンポーネントが屈曲するのを防ぎます。正しい位置が得られたら、モジュラーハンドルの末端をマレットで叩き、コンポーネントを完全にはめ込みます。その後、ロッキング大腿骨インパクター／モジュラーハンドルから成る組立器具を取り外すことができます。

Truliant CR インプラントを選択した場合は、次の「トライアルの整復」のセクションに進んでください。Truliant PS インプラントを選択した場合は、PS ノッチの調製に進んでください。



図 24

大腿骨トライアルにノッチガイドを取り付けます



図 25

PS ノッチを調製します

#### PS ノッチの調製

Truliant PS ノッチガイドの 2 つのロッドを、対応する大腿骨トライアルにある 2 つの孔に「カチッ」という音が鳴るまで完全に差し込み、既に骨に取り付けられた大腿骨トライアルにノッチガイドを取り付けます（図 24）。

ノッチの調製中にさらに安定性を確保するには、大腿骨トライアルにあるピン孔にフランジピンを差し込むことができます。

大腿骨トライアルとノッチガイドのサイズに対応する Truliant ノッチカッターをパワードリルに取り付けます。膝を屈曲させた状態でノッチカッターをノッチガイドに差し込み、ドリルが「ドリル」に設定されていることを確認します。ノッチカッターの歯が黒いブッシングを通り過ぎ、骨に接触する前にドリルを起動させます。ノッチガイドがその進入を止めるまで、ノッチカッターが後側に掘り進むのに合わせて圧力を加えます（図 25）。

## 詳細な外科手術手技

### 手術手技



図 26

遠位大腿骨から残余骨を取り除きます

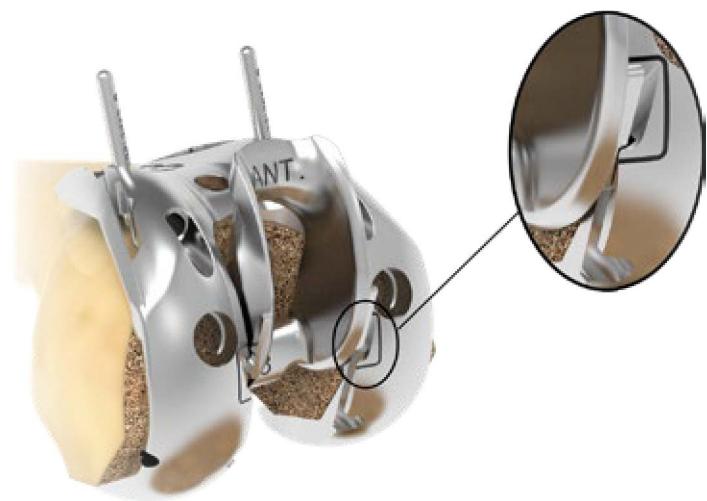


図 27

大腿骨トライアルへの PS カムトライアルの取り付け

パワードリルの電源を止め、ノッチカッティングガイドからノッチカッターを取り外します。骨切り歯が黒いブッシングに接触するのを防ぐため、ノッチカッターを取り外す際にはドリルを起動させないでください。大腿骨トライアルからノッチガイドを取り外します。

ノッチカッターは円筒形であるため、遠位大腿骨から残余骨を取り除く必要があります（図 26）。矢状鋸を使用し、鋸を大腿骨トライアルの内面に合わせて残余骨を取り除き、ノッチの内側および外側を完全に整えます。ノッチに残余する骨は PS カムトライアルの配置および最後のインプラントに影響する可能性があります。

この段階で、Truliant PS カムトライアルを大腿骨トライアルに取り付けることができます。対応するカムトライアルのサイズを選択し、前方から後方へと大腿骨トライアルに差し込むと、カムトライアルのレールが大腿骨トライアルのスロットに適切に配置されます（挿入位置は標識されています）。「カチッ」と音が鳴るまで指でカムトライアルを完全に押し込みます（図 27）。適切に差し込まれている場合、カムトライアルをインパクションする必要はありません。



**図 28**  
脛骨ベースプレートトライアルの配置



**図 29**  
脛骨インサートトライアルシムと脛骨インサートトップの組み立て

カラー	大腿骨トライアルの サイズ	脛骨インサートトップの サイズ	脛骨インサートシムの サイズ	ベースプレートトライアルのオプション		
				ダウンサイズ	同一サイズ	アップサイズ
オレンジ*	0	0	1 ~ 2.5	—	0T	1T
黒	1	1		0T	1T	2T
グレー	1.5	1.5		0.5T	1.5T	2.5T
ブルー	2	2		1T	2T	3T
ライトブルー	2.5	2.5		1.5T	2.5T	3.5T
ブラウン	3	3		2T	3T	4T
ライトブラウン	3.5	3.5		2.5T	3.5T	4.5T
グリーン	4	4		3T	4T	5T
ライトグリーン	4.5	4.5		3.5T	4.5T	5.5T
パープル	5	5		4T	5T	6T
イエロー*	6	6	5/6	5T	6T	—

**表 1**  
トライアルのサイズの互換性

\* 特別注文品

### トライアルの整復

#### 脛骨トライアルのコンポーネント

Truliant 脣骨ベースプレートトライアルは、切除された脣骨表面の境界に突出することなく収まる最大のベースプレートを選択する必要があります（図 28）。選択したベースプレートトライアルは、選択した大腿骨コンポーネントのサイズよりも 1 サイズ大きいか、または小さなものでなければなりません。

次に、厚みが適切な Truliant 脣骨インサートトライアルシムを、好適な Truliant 脣骨インサートトライアルトップ（PS、PSC、CR または CRC）に取り付ける必要があります（図 29）。脣骨インサートトライアルシムおよびトップは、選択した大腿骨コンポーネントのサイズに一致している必要があります。サイズの互換性については表 1 を参照してください。

## 詳細な外科手術手技

### 手術手技



図 30

脛骨トライアルハンドルを使用して脛骨インサート  
トライアルシムとトライアルトップを  
ベースプレートトライアルに取り付けます



図 31

配置を評価します

次に、Truliant 脛骨トライアルハンドルをシム／トップの組立器具に差し込み、脛骨ベースプレートトライアルに配置します（図 30）。脛骨インサートトライアルの組立器具の厚みを調整するため、「最適な適合」が得られるまで脛骨トライアルハンドルを使用してシムを必要に応じて交換することができます。

#### 配置の確認

膝を完全に伸展させた状態で、脛骨ベースプレートトライアルに取り付けたトライアルハンドルを用いると、EM 配置ロッドを脛骨トライアルハンドルの孔またはスロットに差し込むことができ、また、配置を評価することができます（図 31）。脛骨コンポーネントの適切な回転は、大腿骨コンポーネントとの兼ね合いによって確保されます。通常、兼ね合いが成立している場合は脛骨コンポーネントの前面はおおよそ頸骨結節および第 2 趾の方向を向きます。

#### 安定性の確認

膝の伸展および屈曲の両方について安定性を評価する必要があります。伸展の確認は、後方関節包をリラックスさせるために膝を数度屈曲させて実施します。ただし、膝が完全に伸展する必要があります。屈曲の確認は膝を 90 度屈曲させて実施します。内外反へのストレス負荷中に内外側の開口部の両方が正常な膝の開口部に類似している場合、最適な安定性が得られます。屈曲または伸展時の内外反の靭帯の硬さに差がある場合、靭帯のバランスの調節が必要となる場合があります。

	硬い伸展	緩い伸展	適切な伸展
硬い屈曲	<ul style="list-style-type: none"> <li>可能な場合、より薄い Truliant CR ニュートラル脣骨シムを使用してください</li> <li>PCL の付着部に注意しながら、脛骨をさらに切除します</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インサートの厚みを増やし、トライアルには Truliant CR スロープ + または スロープ ++ 脣骨シム／トップを使用してください</li> <li>大腿骨コンポーネントをダウンサイジングしてください</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インサートの厚みを増やし、トライアルには Truliant CR スロープ + または スロープ ++ 脣骨シム／トップを使用してください</li> <li>大腿骨コンポーネントをダウンサイジングしてください</li> </ul>
緩い屈曲	<ul style="list-style-type: none"> <li>遠位大腿骨をさらに切除し、より厚みのある Truliant CR ニュートラル脣骨シムを使用してください</li> <li><b>ニュートラル脣骨シムが 13 mm より厚い場合は、PCL の完全性を確認してください</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>より厚い Truliant CR ニュートラル脣骨シムを使用してください</li> <li><b>ニュートラル脣骨シムが 13 mm より厚い場合は、PCL の完全性を確認してください</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遠位大腿骨をさらに切除し、より厚みのある Truliant CR ニュートラル脣骨シムを使用してください</li> <li><b>ニュートラル脣骨シムが 13 mm より厚い場合は、PCL の完全性を確認してください</b></li> </ul>
適切な屈曲	<ul style="list-style-type: none"> <li>遠位大腿骨をさらに切除してください</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>より厚みのあるインサートおよび Truliant CR スロープ + または スロープ ++ を使用したトライアルを使用してください</li> </ul>	

**表 2**  
Truliant CR の屈曲／伸展ギャップバランスの調整

### 外科的 PS アプローチ

PS アプローチでは、膝の伸展および屈曲時に緩みがある場合、より厚みのあるシムと交換して安定性を再評価してください。

### 外科的 CR アプローチ

初回評価は、CR ニュートラル、9 mm の脣骨インサートトライアルの組立器具（シム／トップの組み合わせ）から開始します。屈曲時に関節が硬い場合は、CR スロープ 9 mm+ または ++ のトップを選択します。余裕のない屈曲スペースを示す 4 つの徵候があります：

- 屈曲時に限定される ROM を伴う大腿骨の過剰なロールバック
- 脣骨インサートトライアルの組立器具および／またはベースプレートトライアルに前部離開がある
- 膝屈曲時に PCL の明らかな緊張がある
- 大腿骨トライアルを配置した状態で膝屈曲位 90 度になると、脣骨インサートトライアルの組立器具の取り外しが困難である場合 (pull-out テスト)
- 屈曲／伸展ギャップバランスに関するヒントについては表を参照してください（表 2）

関節の安定性が得られるまで、追加した厚みとスロープの組み合わせを継続して使用します。

## 詳細な外科手術手技

### 手術手技



図 32  
伸展時の可動域を確認します



図 33  
屈曲時の可動域を確認します

---

### 可動域の確認

膝は力を加えることなく完全に伸展しなければなりません（図 32）。屈曲を確認するには、外科医は大腿を持ち上げて重力で脚を屈曲させる必要があります（図 33）。この方法で決定された屈曲角度は、最終的に達成できる屈曲の最良の術中予測値となります。



図 34  
CR 大腿骨ペグ孔の調製



図 35  
大腿骨トライアルエキストラクターを使用しての取り外し

ROM の最終評価後、Truliant CR インプラントでは、Truliant CR ペグドリルを使用して大腿骨トライアルの内外側孔を通して孔を形成します。これにより、Truliant CR 大腿骨インプラントのペグをカバーするために必要なスペースを作ることができます(図 34)。これで大腿骨トライアルおよび脛骨インサートトライアルの組立器具を取り外すことができます。

Truliant 大腿骨トライアルは、Truliant スラップハンマーに取り付けた大腿骨トライアルエキストラクターを使用して取り外します。大腿骨トライアルエキストラクターのスリーブを引っ張り、足部をペグ孔に差し込みます(図 35)。スリーブを解放し、スラップハンマーを叩いて大腿骨トライアルを取り外します。

**備考：**大腿骨トライアルのインパクションには大腿骨トライアルエキストラクターを使用しないでください。このような誤用により大腿骨トライアルとエキストラクターの両方が破損する可能性があります。

## 詳細な外科手術手技

### 手術手技

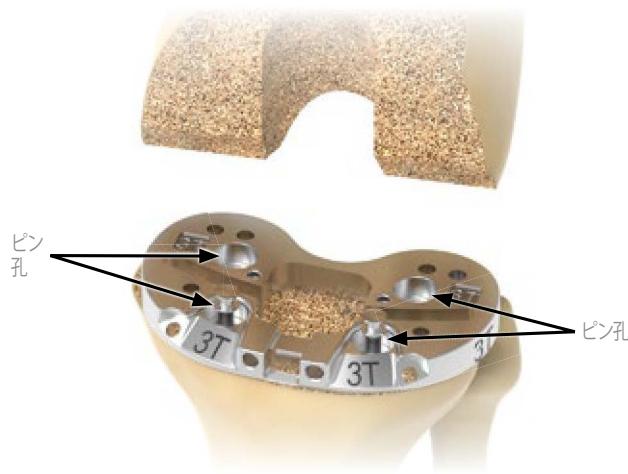


図 36  
脛骨トレートライアルの固定



図 37  
脛骨に取り付けたドリルパイロット孔

### 最後の脛骨調製

すべての確認が完了し、脛骨コンポーネントの適切なサイズおよび回転が決定されたら、脛骨ベースプレートトライアルをピン留めしなければなりません。ピンは脛骨ベースプレートトライアルの内外側ピン孔にドリルを使用して差し込むか、あるいは前および／または後方より打ち込むことにより、最後の脛骨調製中の安定性が得られます。脛骨ベースプレートトライアルには、ヘッドピンまたはヘッドなしピンを使用した両前後側への固定を含め、複数のピン留めオプションが用意されています（図 36）。

脛骨ベースプレートトライアルに Truliant 脛骨パイロットドリルガイドを取り付けます。14 mm Truliant 脛骨パイロットドリルを使用し、選択した脛骨トレーのサイズに一致する深さまでドリルガイドを通して孔を形成します（図 37）。ドリルガイドの上面からドリル軸棒に示された指示線を指標とするか、または脛骨パイロットドリルストップを好適なサイズ（ドリルストップの底面からの指標）に取り付けることで、孔の深さをコントロールすることができます。

**備考：**この段階は、効果的なタンピングを確保し、脛骨骨折のリスクを最小限にするために重要です。



図 38a  
タンプヘッドをタンプガイドに取り付けます



図 38b  
タンプガイドに好適なサイズを設定します

### 脛骨タンプ

Truliant 脛骨タンプガイドの前遠位端にあるボタンを押して、Truliant 脛骨タンプヘッドをタンプガイドに取り付けます（図 38a）。近位端にあるダイアルを窓から好適なサイズが見えるまで回転させ、あらかじめ決定された脛骨トレーのサイズに対応するサイズをタンプガイドに設定します（図 38b）。

## 詳細な外科手術手技

### 手術手技



図 39  
脛骨タンプガイドを配置します



図 40a  
タンプに完全なインパクションを施します

タンプガイドの底のペグを脛骨ベースプレートトライアルの孔に合わせ、タンプガイドを脛骨ベースプレートトライアルにぴったりと接触させてはめ込みます（図 39）。タンプヘッドはインパクションプレートがタンプガイドのダイアルノブに接触するまで打ち込みます（図 40a）。タンプガイドの内外側の両側にある遠位袖部に標識されたサイズ標識を使用して、完全なインパクションであるか確認することもできます（図 40b）。



図 40b

タンプガイドの遠位袖部にあるサイズ標識を用いて  
インパクションが完全であるか確認します



図 41

脛骨からのタンプの取り外し

タンプガイドおよびタンプヘッドは、マレットを使用して逆方向から軽くインパクションプレートにインパクションを行い、近位脛骨から取り外します（図 41）。

**備考：**インパクションと逆方向からのインパクションを行う際には、タンプガイドをしっかりと保持し、タンプガイドに傾きや離開が生じないようにします。軸外にインパクションを行うと、脛骨調製の完全性が失われる可能性があります。

# 詳細な外科手術手技

## 手術手技

### 膝蓋骨インプラントのオプション



スタンダード膝蓋骨

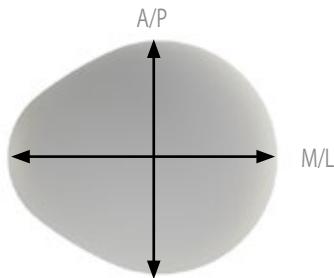
アドバンスド膝蓋骨

#### スタンダード膝蓋骨

直径 (mm)	厚み (mm)
26	5.1
29	6.1
32	7.2
35	8.5
38	10.0
41	11.0

#### アドバンスド膝蓋骨 \*

A/P 直径 (mm)	厚み (mm)	
	M/L	
26	30	6.1
29	34	7.1
32	37	8.2
35	40	10.0



\* 特別注文品



図 42a

スタンダード膝蓋骨調製における膝蓋骨ドリルガイドの  
膝蓋骨調製ハンドルへの取り付け



図 42b

アドバンスド膝蓋骨調製における膝蓋骨ドリルガイドの  
膝蓋骨調製ハンドルへの取り付け

#### 膝蓋骨の調製およびサイジング

膝蓋骨切除ガイドを使用せず膝蓋骨切除施す場合（「フリーハンド」）、大きな布鉗子または同等の器具を使用して膝蓋骨を安定させる必要があります。膝蓋骨の関節面は振動鋸を使用して切除する必要があります。

#### 器具の組み立て

膝蓋骨の切除が完了したら、使用する膝蓋骨インプラントに応じて膝蓋骨調製ハンドルに取り付けた適切なドリルガイドを使用し、膝蓋骨サイズ（直径）の最終決定および孔調製を行います（図 42a / 42b）。

## 詳細な外科手術手技

### 手術手技



図 43a

適切なドリルガイドを使用して形成された  
スタンダード膝蓋骨のドリル孔

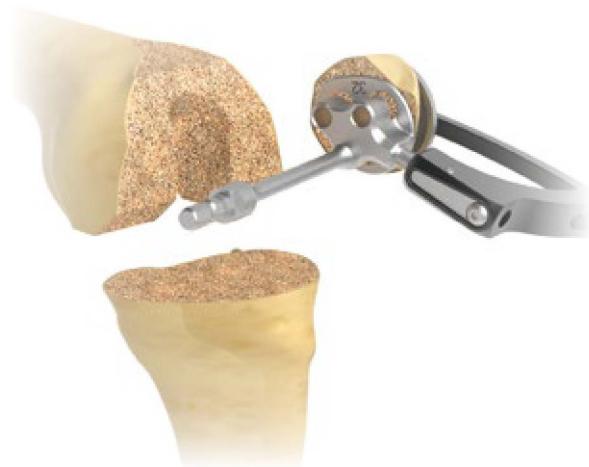


図 43b

適切なドリルガイドを使用して形成された  
アドバンスド膝蓋骨のドリル孔

ハンドルが完全に開いた状態でドリルガイドを膝蓋骨に配置し、膝蓋骨の直径／骨範囲を評価します。ドリルガイドの孔のパター  
ンおよびサイズは、スタンダード膝蓋骨およびアドバンスド膝  
蓋骨の両方を含め、あらゆる3-ペグ膝蓋骨コンポーネントに  
対応します。膝蓋骨をクランプで留め、ハンドルを締めて位置  
を固定します。ドリルガイドを通してドリルで孔を形成します(図  
43a および 43b)。孔が形成されたら、膝蓋骨から調製ハンド  
ルおよびドリルガイドを取り除きます。膝蓋骨には、適切なサ  
イズおよびスタイルのトライアルプロテーゼを配置します。

**備考：**アドバンスド膝蓋骨ドリルガイドおよびトライアルは特別  
注文となります。

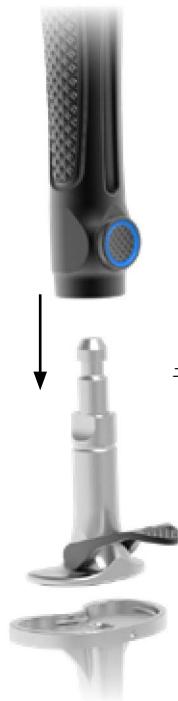


図 44a

ロッキング脛骨インパクターを  
モジュラーハンドルに取り付けます



図 44b

ロッキング脛骨インパクターを  
脛骨コンポーネントに取り付けます



図 45

脛骨コンポーネントを切除済み脛骨に配置します

### 最後のインプラント

#### 最後の骨調製

開創器を設置して関節を露出させます。組織残屑は切除骨表面からすべて取り除きます。骨染はパルス洗浄で完全に洗浄します。

#### 脛骨トレーコンポーネントのインプラント

海綿骨への孔形成を施しやすくするため、骨セメントの粘度が十分に低い間にプロテーゼおよび調製済み骨表面に骨セメントを施します。

セメントガンを使用するか、またはセメントを圧力によって手作業で近位脛骨およびキールを含めた脛骨トレーコンポーネントの遠位表面に骨セメントを施します。骨および骨側のプロテーゼの両方が完全にセメントで覆われるようにします。Truliant

フィットトレーコンポーネントを使用する際には、セメントポケットにセメントが塗り込まれた状態であるか確認します。後方関節包内のセメント除去量を減らすため、インプラントの後外側角に塗布されるセメント量を制限するよう配慮します。セメントは乾燥したインプラントに施す必要があることに留意してください。

次に、モジュラーハンドルを Truliant ロッキング脛骨インパクターに取り付けます。この構成を使用し、一定の下向きの力を加えて脛骨トレーコンポーネントを調製済み脛骨に差し込みます(図 44a / 44b / 45)。

外に付着したセメントは、脛骨コンポーネントの境界の後側から開始した後、両側から前側の順に取り除く必要があります。膝後方関節包領域のセメントはすべて取り除く必要があります。

## 詳細な外科手術手技

### 手術手技



図 46

大腿骨コンポーネントを遠位大腿骨に配置します



図 47

調製済み大腿骨コンポーネントへのインパクション

#### 大腿骨コンポーネントのインプラント

**備考：**多孔質大腿骨コンポーネントでは、骨セメントの適用はオプションとなっています。多孔質大腿骨コンポーネントをロッキング大腿骨インパクターに取り付け、大腿骨コンポーネントを遠位大腿骨に設置します。

大腿骨コンポーネントをロッキング大腿骨インパクターに取り付けたら、大腿骨コンポーネントの骨接着面に骨セメントを塗布します。除去が困難となる可能性がある後方に余分なセメントが押し出されるのを避けるため、プロテーゼ後面にはセメントを薄く塗布するように注意してください。

ロッキング大腿骨インパクターを使用して大腿骨コンポーネントを遠位大腿骨に配置します（図 46）。コンポーネントにインパクションを施す際に、モジュラーインパクターハンドルに軽く上方の圧をかけ、大腿骨コンポーネントが屈曲するのを防ぎます。

大腿骨コンポーネントへの最後のインパクションは、モジュラーアインパクターハンドルに取り付けた Truliant 非ロッキング大腿骨インパクターを使用して施します（図 47）。

余分な骨セメントはすべて慎重に除去する必要があります。



図 48

Truliant 膝蓋骨調製ハンドルおよびクランプヘッドを使用して  
膝蓋骨コンポーネントを骨に留めます

#### 膝蓋骨コンポーネントのインプラント

切除した膝蓋骨表面および膝蓋骨コンポーネントの骨接着面をセメントで覆います。膝蓋骨インプラントのペグを膝蓋骨にあらかじめ孔形成したペグ孔に合わせ、インプラントを膝蓋骨に押し付けます。

Truliant 膝蓋骨クランプヘッドを膝蓋骨調製ハンドルに取り付けます。膝蓋骨調製ハンドルおよびクランプヘッドを使用して膝蓋骨コンポーネントを膝蓋骨に留めます（図 48）。この際、特に膝蓋骨が軟らかい場合は破損する可能性があるため、過剰な締め付け圧をかけないようにします。歯止め機構を使用してハンドルをロックします。

## 詳細な外科手術手技

### 手術手技



図 49a

脛骨インプラントアダプタープレートを  
脛骨インプラントに挿入します



図 49b

シム／トップの組立器具をアダプタープレートの  
上面に挿入します

### セメントの重合

重合中のセメントへの加圧時には、シム／トップの組立器具を使用できます。Truliant 脛骨インプラントアダプタープレートを脛骨インプラントに挿入します（図 49a）。選択した厚みを持つシム／トップの組立器具を、関節スペースからアダプタープレートの上面に至るまで挿入します（図 49b）。セメントの重合中は、プロテーゼが屈曲または伸展する原因となる可能性がある過伸展または過屈曲の両方を避けながら、関節全体への軸圧を維持します。

この手順はあらゆる症例において重要ですが、骨減少傾向のある骨では特に重要です。骨セメントが完全に重合するまでプロテーゼを動かさないようにします。



図 50

ポリエチレンインサートを差し込みます



図 51

脛骨インサートドライバーを使用して  
脛骨コンポーネントの組み立てを完成させます

#### 脛骨ポリエチレンインサートの設置

セメントの重合後、インサートの後足部が金属脛骨トレー後面のアンダーカットに正しく嵌合するようにしながら、あらかじめインプラントされた脛骨トレーにポリエチレンインサートを差し込みます（図 50）。脛骨インサートが脛骨トレーに対して回転しておらず、中心に位置するようにします。これにより、後足部が整列して正しく嵌合されます。

インプラントの組立器具に干渉する可能性のある軟部組織または残余骨がないか必ず確認してください。ポリエチレンインサートが完全にはまり込み、トレーとインサート間のギャップがなくなるまで 2 本の親指で押し続けます。

脛骨コンポーネントの組み立てを完了するには、Truliant 脣骨インサートドライバーを使用します（図 51）。脣骨コンポーネントの最後のインパクションにはマレットを使用します。

外科医は脣骨インサートが完全に金属の脣骨トレーにはまり込んでいることを確認してください。

## 詳細な外科手術手技

### 手術手技

---

#### 最終確認および縫合

最終確認には以下が含まれます：

1. 突出した残余セメントの除去

2. 最終評価：

- 配置
- 安定性
- 可動域
- 膝蓋骨トラッキング

#### 縫合

外科医が好適とする標準縫合法をお使いください。

## 器具一覧

## 詳細な外科手術手技

手術手技

### カタログ番号

### パート説明

02-029-11-1000

Truliant 大腿骨骨髓内/パイロットドリル



02-029-11-1100

Truliant 大腿骨骨髓内ロッド



02-029-11-1300

Truliant モジュラー T-ハンドル、歯止めなし



02-029-11-2100

Truliant 遠位大腿骨リンク



02-029-11-2000

Truliant 遠位大腿骨配置ガイド



02-029-11-8000

Truliant 遠位大腿骨切除ガイド



02-029-21-1100

Truliant 骨髓外配置支柱



02-029-21-1000

Truliant 足首クランプ



02-029-21-8010

Truliant 脛骨切除ガイド、左

02-029-21-8020

Truliant 脛骨切除ガイド、右



## 器具一覧

### カタログ番号 パーツ説明

02-029-21-4000 Truliant アジャスタブル脛骨スタイルス



02-029-29-1100 Truliant 配置ロッドハンドル



02-029-29-2000 Truliant 骨髓外配置ロッド／カプラ



02-029-29-2100 Truliant 骨髓外配置延長ロッド



02-029-90-6000 Truliant カットラインプレディクター



02-029-90-2010 Truliant スペーサーブロック、9 mm および 11 mm



02-029-90-2020 Truliant スペーサーブロック、13 mm および 15 mm

02-029-90-2040 Truliant スペーサーブロック、5 mm および 7 mm

02-029-90-2100 Truliant スペーサーブロックシム、1 mm

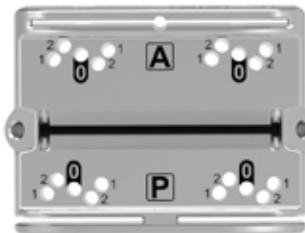


02-029-90-2120 Truliant スペーサーブロックシム、4 mm

02-029-12-1200 Truliant 大腿骨 A/P サイザー



02-029-13-8000\* Truliant 大腿骨仕上げガイド、サイズ 0



02-029-13-8010 Truliant 大腿骨仕上げガイド、サイズ 1

02-029-13-8015 Truliant 大腿骨仕上げガイド、サイズ 1.5

02-029-13-8020 Truliant 大腿骨仕上げガイド、サイズ 2

02-029-13-8025 Truliant 大腿骨仕上げガイド、サイズ 2.5

02-029-13-8030 Truliant 大腿骨仕上げガイド、サイズ 3

02-029-13-8035 Truliant 大腿骨仕上げガイド、サイズ 3.5

02-029-13-8040 Truliant 大腿骨仕上げガイド、サイズ 4

02-029-13-8045 Truliant 大腿骨仕上げガイド、サイズ 4.5

02-029-13-8050 Truliant 大腿骨仕上げガイド、サイズ 5

02-029-13-8060\* Truliant 大腿骨仕上げガイド、サイズ 6

\* 特別注文のみ

カタログ番号	パート説明	
02-029-15-1000*	Truliant 大腿骨トライアル、サイズ 0	
02-029-15-1010	Truliant 大腿骨トライアル、サイズ 1	
02-029-15-1015	Truliant 大腿骨トライアル、サイズ 1.5	
02-029-15-1020	Truliant 大腿骨トライアル、サイズ 2	
02-029-15-1025	Truliant 大腿骨トライアル、サイズ 2.5	
02-029-15-1030	Truliant 大腿骨トライアル、サイズ 3	
02-029-15-1035	Truliant 大腿骨トライアル、サイズ 3.5	
02-029-15-1040	Truliant 大腿骨トライアル、サイズ 4	
02-029-15-1045	Truliant 大腿骨トライアル、サイズ 4.5	
02-029-15-1050	Truliant 大腿骨トライアル、サイズ 5	
02-029-15-1060*	Truliant 大腿骨トライアル、サイズ 6	
02-029-90-1000	Truliant ユニバーサルモジュラーハンドル	
02-029-19-1000	Truliant 大腿骨インパクター、ロック	
02-029-19-1100	Truliant 大腿骨インパクター、非ロック	
02-029-15-2000*	Truliant PS ノッチガイド、サイズ 0	
02-029-15-2010	Truliant PS ノッチガイド、サイズ 1	
02-029-15-2015	Truliant PS ノッチガイド、サイズ 1.5	
02-029-15-2020	Truliant PS ノッチガイド、サイズ 2	
02-029-15-2025	Truliant PS ノッチガイド、サイズ 2.5	
02-029-15-2030	Truliant PS ノッチガイド、サイズ 3	
02-029-15-2035	Truliant PS ノッチガイド、サイズ 3.5	
02-029-15-2040	Truliant PS ノッチガイド、サイズ 4	
02-029-15-2045	Truliant PS ノッチガイド、サイズ 4.5	
02-029-15-2050	Truliant PS ノッチガイド、サイズ 5	
02-029-15-2060*	Truliant PS ノッチガイド、サイズ 6	

\* 特別注文のみ

## 器具一覧

### カタログ番号 パーツ説明

02-029-15-3000*	Truliant PS ノッチカッター、サイズ 0
02-029-15-3010	Truliant PS ノッチカッター、サイズ 1
02-029-15-3015	Truliant PS ノッチカッター、サイズ 1.5
02-029-15-3020	Truliant PS ノッチカッター、サイズ 2
02-029-15-3025	Truliant PS ノッチカッター、サイズ 2.5
02-029-15-3030	Truliant PS ノッチカッター、サイズ 3
02-029-15-3035	Truliant PS ノッチカッター、サイズ 3.5
02-029-15-3040	Truliant PS ノッチカッター、サイズ 4
02-029-15-3045	Truliant PS ノッチカッター、サイズ 4.5
02-029-15-3050	Truliant PS ノッチカッター、サイズ 5
02-029-15-3060*	Truliant PS ノッチカッター、サイズ 6
02-029-15-4000*	Truliant PS カムトライアル、サイズ 0
02-029-15-4010	Truliant PS カムトライアル、サイズ 1
02-029-15-4015	Truliant PS カムトライアル、サイズ 1.5
02-029-15-4020	Truliant PS カムトライアル、サイズ 2
02-029-15-4025	Truliant PS カムトライアル、サイズ 2.5
02-029-15-4030	Truliant PS カムトライアル、サイズ 3
02-029-15-4035	Truliant PS カムトライアル、サイズ 3.5
02-029-15-4040	Truliant PS カムトライアル、サイズ 4
02-029-15-4045	Truliant PS カムトライアル、サイズ 4.5
02-029-15-4050	Truliant PS カムトライアル、サイズ 5
02-029-15-4060*	Truliant PS カムトライアル、サイズ 6
02-029-25-1000	Truliant ベースプレートトライアル、サイズ 0T
02-029-25-1005	Truliant ベースプレートトライアル、サイズ 0.5T
02-029-25-1010	Truliant ベースプレートトライアル、サイズ 1T
02-029-25-1015	Truliant ベースプレートトライアル、サイズ 1.5T
02-029-25-1020	Truliant ベースプレートトライアル、サイズ 2T
02-029-25-1025	Truliant ベースプレートトライアル、サイズ 2.5T
02-029-25-1030	Truliant ベースプレートトライアル、サイズ 3T
02-029-25-1035	Truliant ベースプレートトライアル、サイズ 3.5T
02-029-25-1040	Truliant ベースプレートトライアル、サイズ 4T
02-029-25-1045	Truliant ベースプレートトライアル、サイズ 4.5T
02-029-25-1050	Truliant ベースプレートトライアル、サイズ 5T
02-029-25-1055	Truliant ベースプレートトライアル、サイズ 5.5T
02-029-25-1060	Truliant ベースプレートトライアル、サイズ 6T



\* 特別注文のみ

## カタログ番号

## パート説明

02-029-25-2609*	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 0、9 mm
02-029-25-2610*	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 0、10 mm
02-029-25-2611*	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 0、11 mm
02-029-25-2612*	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 0、12 mm
02-029-25-2613*	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 0、13 mm
02-029-25-2615*	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 0、15 mm
02-029-25-2617*	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 0、17 mm
02-029-25-2619*	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 0、19 mm
02-029-25-2709	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 1～2.5、9 mm
02-029-25-2710	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 1～2.5、10 mm
02-029-25-2711	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 1～2.5、11 mm
02-029-25-2712	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 1～2.5、12 mm
02-029-25-2713	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 1～2.5、13 mm
02-029-25-2715	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 1～2.5、15 mm
02-029-25-2717	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 1～2.5、17 mm
02-029-25-2719	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 1～2.5、19 mm
02-029-25-2809	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 3～4.5、9 mm
02-029-25-2810	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 3～4.5、10 mm
02-029-25-2811	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 3～4.5、11 mm
02-029-25-2812	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 3～4.5、12 mm
02-029-25-2813	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 3～4.5、13 mm
02-029-25-2815	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 3～4.5、15 mm
02-029-25-2817	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 3～4.5、17 mm
02-029-25-2819	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 3～4.5、19 mm
02-029-25-2909	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 5～6、9 mm
02-029-25-2910	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 5～6、10 mm
02-029-25-2911	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 5～6、11 mm
02-029-25-2912	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 5～6、12 mm
02-029-25-2913	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 5～6、13 mm
02-029-25-2915	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 5～6、15 mm
02-029-25-2917	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 5～6、17 mm
02-029-25-2919	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 5～6、19 mm



\* 特別注文のみ

## 器具一覧

### カタログ番号

### パーツ説明

02-029-25-3100*	Truliant 脂骨インサートトライアルトップ、CR ニュートラル、サイズ 0
02-029-25-3110	Truliant 脂骨インサートトライアルトップ、CR ニュートラル、サイズ 1
02-029-25-3115	Truliant 脂骨インサートトライアルトップ、CR ニュートラル、サイズ 1.5
02-029-25-3120	Truliant 脂骨インサートトライアルトップ、CR ニュートラル、サイズ 2
02-029-25-3125	Truliant 脂骨インサートトライアルトップ、CR ニュートラル、サイズ 2.5
02-029-25-3130	Truliant 脂骨インサートトライアルトップ、CR ニュートラル、サイズ 3
02-029-25-3135	Truliant 脂骨インサートトライアルトップ、CR ニュートラル、サイズ 3.5
02-029-25-3140	Truliant 脂骨インサートトライアルトップ、CR ニュートラル、サイズ 4
02-029-25-3145	Truliant 脂骨インサートトライアルトップ、CR ニュートラル、サイズ 4.5
02-029-25-3150	Truliant 脂骨インサートトライアルトップ、CR ニュートラル、サイズ 5
02-029-25-3160*	Truliant 脂骨インサートトライアルトップ、CR ニュートラル、サイズ 6
02-029-25-3200*	Truliant 脂骨インサートトライアルトップ、CR スロープ+、サイズ 0
02-029-25-3210	Truliant 脂骨インサートトライアルトップ、CR スロープ+、サイズ 1
02-029-25-3215	Truliant 脂骨インサートトライアルトップ、CR スロープ+、サイズ 1.5
02-029-25-3220	Truliant 脂骨インサートトライアルトップ、CR スロープ+、サイズ 2
02-029-25-3225	Truliant 脂骨インサートトライアルトップ、CR スロープ+、サイズ 2.5
02-029-25-3230	Truliant 脂骨インサートトライアルトップ、CR スロープ+、サイズ 3
02-029-25-3235	Truliant 脂骨インサートトライアルトップ、CR スロープ+、サイズ 3.5
02-029-25-3240	Truliant 脂骨インサートトライアルトップ、CR スロープ+、サイズ 4
02-029-25-3245	Truliant 脂骨インサートトライアルトップ、CR スロープ+、サイズ 4.5
02-029-25-3250	Truliant 脂骨インサートトライアルトップ、CR スロープ+、サイズ 5
02-029-25-3260*	Truliant 脂骨インサートトライアルトップ、CR スロープ+、サイズ 6



\* 特別注文のみ

カタログ番号	パート説明
02-029-25-3300*	Truliant 脛骨インサートトライアルトップ、CRスロープ++、サイズ0
02-029-25-3310	Truliant 脛骨インサートトライアルトップ、CRスロープ++、サイズ1
02-029-25-3315	Truliant 脛骨インサートトライアルトップ、CRスロープ++、サイズ1.5
02-029-25-3320	Truliant 脛骨インサートトライアルトップ、CRスロープ++、サイズ2
02-029-25-3325	Truliant 脛骨インサートトライアルトップ、CRスロープ++、サイズ2.5
02-029-25-3330	Truliant 脛骨インサートトライアルトップ、CRスロープ++、サイズ3
02-029-25-3335	Truliant 脛骨インサートトライアルトップ、CRスロープ++、サイズ3.5
02-029-25-3340	Truliant 脛骨インサートトライアルトップ、CRスロープ++、サイズ4
02-029-25-3345	Truliant 脛骨インサートトライアルトップ、CRスロープ++、サイズ4.5
02-029-25-3350	Truliant 脛骨インサートトライアルトップ、CRスロープ++、サイズ5
02-029-25-3360*	Truliant 脛骨インサートトライアルトップ、CRスロープ++、サイズ6
	Truliant 脛骨インサートトライアルトップ、CRC、サイズ0
	Truliant 脛骨インサートトライアルトップ、CRC、サイズ1
02-029-25-3400*	Truliant 脛骨インサートトライアルトップ、CRC、サイズ1.5
02-029-25-3410	Truliant 脛骨インサートトライアルトップ、CRC、サイズ2
02-029-25-3415	Truliant 脛骨インサートトライアルトップ、CRC、サイズ2.5
02-029-25-3420	Truliant 脛骨インサートトライアルトップ、CRC、サイズ3
02-029-25-3425	Truliant 脛骨インサートトライアルトップ、CRC、サイズ3.5
02-029-25-3430	Truliant 脛骨インサートトライアルトップ、CRC、サイズ4
02-029-25-3435	Truliant 脛骨インサートトライアルトップ、CRC、サイズ4.5
02-029-25-3440	Truliant 脛骨インサートトライアルトップ、CRC、サイズ5
02-029-25-3445	Truliant 脛骨インサートトライアルトップ、CRC、サイズ6
02-029-25-3450	
02-029-25-3460*	



\* 特別注文のみ

## 器具一覧

### カタログ番号

### パーツ説明

02-029-25-3500\* Truliant 脛骨インサートトライアルトップ、PS、サイズ 0  
02-029-25-3510 Truliant 脛骨インサートトライアルトップ、PS、サイズ 1  
02-029-25-3515 Truliant 脂骨インサートトライアルトップ、PS、サイズ 1.5  
02-029-25-3520 Truliant 脛骨インサートトライアルトップ、PS、サイズ 2  
02-029-25-3525 Truliant 脛骨インサートトライアルトップ、PS、サイズ 2.5  
02-029-25-3530 Truliant 脛骨インサートトライアルトップ、PS、サイズ 3  
02-029-25-3535 Truliant 脛骨インサートトライアルトップ、PS、サイズ 3.5  
02-029-25-3540 Truliant 脛骨インサートトライアルトップ、PS、サイズ 4  
02-029-25-3545 Truliant 脛骨インサートトライアルトップ、PS、サイズ 4.5  
02-029-25-3550 Truliant 脛骨インサートトライアルトップ、PS、サイズ 5  
02-029-25-3560\* Truliant 脛骨インサートトライアルトップ、PS、サイズ 6



02-029-25-3600\* Truliant 脛骨インサートトライアルトップ、PSC、  
サイズ 0  
02-029-25-3610 Truliant 脛骨インサートトライアルトップ、PSC、  
サイズ 1  
02-029-25-3615 Truliant 脛骨インサートトライアルトップ、PSC、  
サイズ 1.5  
02-029-25-3620 Truliant 脛骨インサートトライアルトップ、PSC、  
サイズ 2  
02-029-25-3625 Truliant 脛骨インサートトライアルトップ、PSC、  
サイズ 2.5  
02-029-25-3630 Truliant 脛骨インサートトライアルトップ、PSC、  
サイズ 3  
02-029-25-3635 Truliant 脛骨インサートトライアルトップ、PSC、  
サイズ 3.5  
02-029-25-3640 Truliant 脛骨インサートトライアルトップ、PSC、  
サイズ 4  
02-029-25-3645 Truliant 脛骨インサートトライアルトップ、PSC、  
サイズ 4.5  
02-029-25-3650 Truliant 脛骨インサートトライアルトップ、PSC、  
サイズ 5  
02-029-25-3660\* Truliant 脛骨インサートトライアルトップ、PSC、  
サイズ 6



02-029-29-1000 Truliant 脛骨トライアルハンドル



02-029-19-2000 Truliant CR 大腿骨ペグドリル



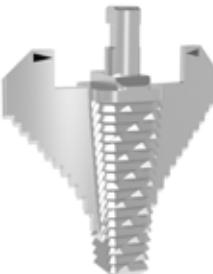
02-029-90-4100 Truliant ヘッドピンプラー／ドライバー



02-029-22-1000 Truliant 脛骨パイロットドリルガイド



\* 特別注文のみ

カタログ番号	パート説明	
02-029-22-1100	Truliant 脛骨パイロットドリル	
02-029-22-1200	Truliant 脂骨パイロットドリルストップ	
02-029-22-2000	Truliant 脂骨タンプガイド	
02-029-22-2100	Truliant 脂骨タンプヘッド、セメント固定	
02-029-90-5000	Truliant キャリバー	
02-029-32-1000	Truliant 膝蓋骨調製ハンドル	
02-029-32-2026	Truliant 膝蓋骨ドリルガイド、26 mm	
02-029-32-2029	Truliant 膝蓋骨ドリルガイド、29 mm	
02-029-32-2032	Truliant 膝蓋骨ドリルガイド、32 mm	
02-029-32-2035	Truliant 膝蓋骨ドリルガイド、35 mm	
02-029-32-2038	Truliant 膝蓋骨ドリルガイド、38 mm	
02-029-32-2041	Truliant 膝蓋骨ドリルガイド、41 mm	
02-029-32-3126	Truliant アドバンスド膝蓋骨ドリルガイド、26 mm*	
02-029-32-3129	Truliant アドバンスド膝蓋骨ドリルガイド、29 mm*	
02-029-32-3132	Truliant アドバンスド膝蓋骨ドリルガイド、32 mm*	
02-029-32-3135	Truliant アドバンスド膝蓋骨ドリルガイド、35 mm*	
02-029-32-4000	Truliant 膝蓋骨ドリル、3-ペグ、ジンマーハドソン	
02-029-35-1026	3-ペグ膝蓋骨トライアル、26 mm	
02-029-35-1029	3-ペグ膝蓋骨トライアル、29 mm	
02-029-35-1032	3-ペグ膝蓋骨トライアル、32 mm	
02-029-35-1035	3-ペグ膝蓋骨トライアル、35 mm	
02-029-35-1038	3-ペグ膝蓋骨トライアル、38 mm	
02-029-35-1041	3-ペグ膝蓋骨トライアル、41 mm	

\* 特別注文のみ

## 器具一覧

### カタログ番号

### パーツ説明

02-029-35-2026	3- ペグアドバンスド膝蓋骨トライアル、26 mm*
02-029-35-2029	3- ペグアドバンスド膝蓋骨トライアル、29 mm*
02-029-35-2032	3- ペグアドバンスド膝蓋骨トライアル、32 mm*
02-029-35-2035	3- ペグアドバンスド膝蓋骨トライアル、35 mm*



02-029-90-3000	Truliant スラップハンマー
02-029-19-1200	Truliant 大腿骨トライアルエキストラクター
02-029-29-3200	Truliant 脛骨インパクター、ロッキング
02-029-25-4000*	Truliant 脛骨インプラントアダプタープレート、サイズ 0
02-029-25-4010	Truliant 脛骨インプラントアダプタープレート、サイズ 1
02-029-25-4015	Truliant 脛骨インプラントアダプタープレート、サイズ 1.5
02-029-25-4020	Truliant 脛骨インプラントアダプタープレート、サイズ 2
02-029-25-4025	Truliant 脛骨インプラントアダプタープレート、サイズ 2.5
02-029-25-4030	Truliant 脛骨インプラントアダプタープレート、サイズ 3
02-029-25-4035	Truliant 脛骨インプラントアダプタープレート、サイズ 3.5
02-029-25-4040	Truliant 脛骨インプラントアダプタープレート、サイズ 4
02-029-25-4045	Truliant 脛骨インプラントアダプタープレート、サイズ 4.5
02-029-25-4050	Truliant 脂骨インプラントアダプタープレート、サイズ 5
02-029-25-4060*	Truliant 脂骨インプラントアダプタープレート、サイズ 6
02-029-39-1000	Truliant 膝蓋骨クランプヘッド
02-029-29-3300	Truliant 脛骨インサートドライバー



\* 特別注文のみ

カタログ番号 パーツ説明

02-029-29-3000 Truliant 脛骨インパクター、非ロックинг、小

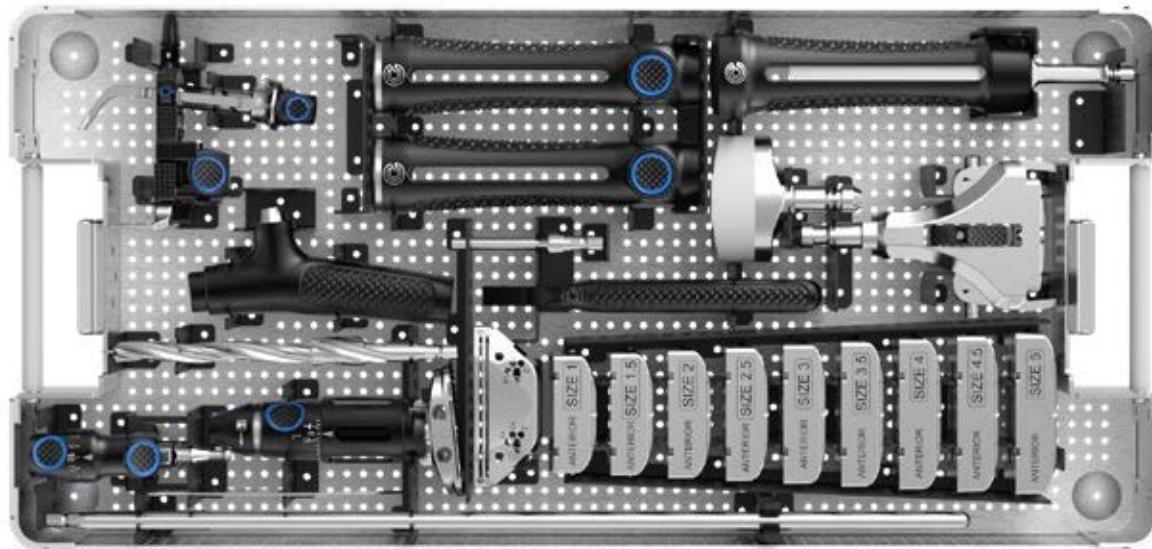


02-029-90-4000 Truliant ピンプラー



\* 特別注文のみ

## トレーのレイアウト



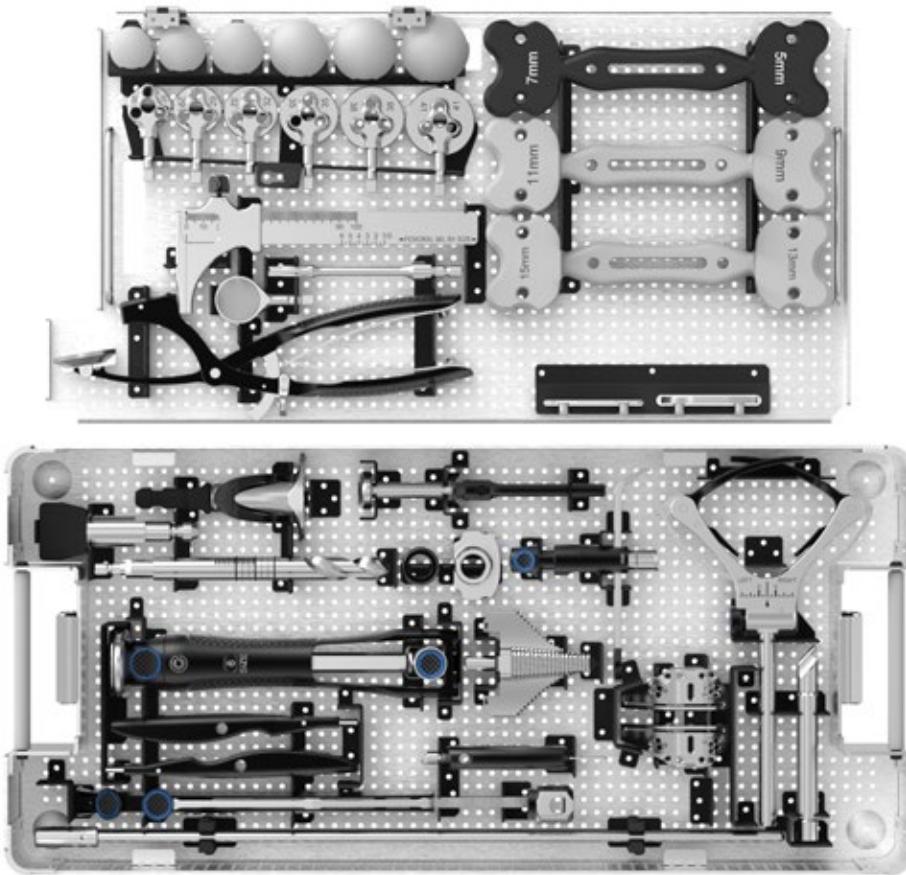
\* 特別注文のみ

**KIT-271A Truliant 大腿骨調製器具トレー**

品目	品目説明	数
02-029-11-2000	内反／外反配置ガイド	1
02-029-11-2100	遠位リンク	1
02-029-11-8000	遠位大腿骨カットブロック	1
02-029-11-1000	IM パイロットドリル	1
02-029-11-1100	IM ロッド	1
02-029-11-1300	モジュラー T-ハンドル	1
02-029-12-1200	A/P サイザー	1
02-029-19-1000	ロックキング大腿骨インパクター	1
02-029-19-1100	非ロックキング大腿骨インパクター	1
02-029-90-1000	モジュラーハンドル	2
02-029-90-4000	ピンプラー	1
02-029-90-6000	エンジエルウイング	1
02-029-13-8010	サイズ 1、フォーインワンブロック	1
02-029-13-8015	サイズ 1.5、フォーインワンブロック	1
02-029-13-8020	サイズ 2、フォーインワンブロック	1
02-029-13-8025	サイズ 2.5、フォーインワンブロック	1
02-029-13-8030	サイズ 3、フォーインワンブロック	1
02-029-13-8035	サイズ 3.5、フォーインワンブロック	1
02-029-13-8040	サイズ 4、フォーインワンブロック	1
02-029-13-8045	サイズ 4.5、フォーインワンブロック	1
02-029-13-8050	サイズ 5、フォーインワンブロック	1
02-029-90-3000	スラップハンマー	1
10-321-00-0001	器具トレー蓋、フル	1
02-029-01-0010	Truliant 大腿骨調製器具トレー	1

\* 特別注文のみ

## トレーのレイアウト



**KIT-271B Truliant 脛骨／膝蓋骨調製器具トレー**

品目	品目説明	数
02-029-90-2010	スペーサーブロック、9/11	1
02-029-90-2020	スペーサーブロック、13/15	1
02-029-90-2040	スペーサーブロック、5/7	1
02-029-90-2100	スペーサーブロック用 1 mm シム	1
02-029-90-2120	スペーサーブロック用 4 mm シム	1
02-029-90-4100	シリンジピンプレー	1
02-029-21-1000	足首クランプ	1
02-029-21-1100	EM 配置ガイド	1
02-029-21-4000	脛骨スタイルス	1
02-029-21-8010	脛骨カットブロック、左	1
02-029-21-8020	脛骨カットブロック、右	1
02-029-22-1100	14 mm 脣骨パイロットドリル	1

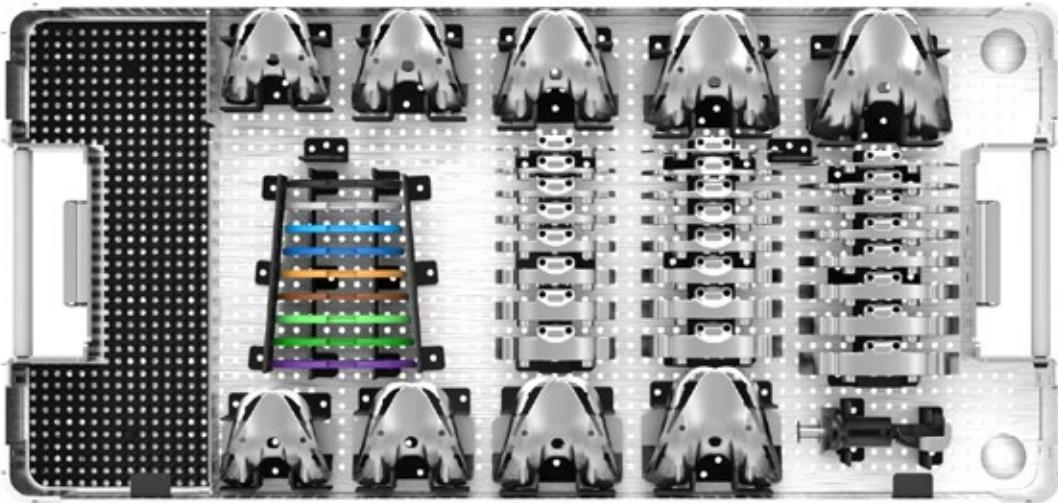
\* 特別注文のみ

**KIT-271B Truliant 脛骨／膝蓋骨調製器具トレー（続き）**

02-029-22-1000	脛骨パイロットドリルガイド	1
02-029-22-1200	パイロットドリルストッパー	1
02-029-22-2000	タンプガイド	1
02-029-22-2100	タンプヘッド	1
02-029-29-3200	脛骨ロッキングインパクター	1
02-029-29-1000	脛骨トライアルハンドル	2
02-029-32-2026	膝蓋骨ドリルガイド、26 mm	1
02-029-32-2029	膝蓋骨ドリルガイド、29 mm	1
02-029-32-2032	膝蓋骨ドリルガイド、32 mm	1
02-029-32-2035	膝蓋骨ドリルガイド、35 mm	1
02-029-32-2038	膝蓋骨ドリルガイド、38 mm	1
02-029-32-2041	膝蓋骨ドリルガイド、41 mm	1
02-029-32-1000	膝蓋骨クランプ	1
02-029-32-4000	膝蓋骨ドリル、3-ペグ	1
02-029-39-1000	膝蓋骨圧縮ヘッド	1
02-029-90-5000	キャリパー	1
02-029-35-1026	3-ペグ膝蓋骨トライアル、26 mm	1
02-029-35-1029	3-ペグ膝蓋骨トライアル、29 mm	1
02-029-35-1032	3-ペグ膝蓋骨トライアル、32 mm	1
02-029-35-1035	3-ペグ膝蓋骨トライアル、35 mm	1
02-029-35-1038	3-ペグ膝蓋骨トライアル、38 mm	1
02-029-35-1041	3-ペグ膝蓋骨トライアル、41 mm	1
02-029-29-2000	ドロッププロッド	1
02-029-29-2100	延長ドロッププロッド	1
02-029-29-1100	ドロッププロッドハンドル	1
02-029-29-3300	脛骨インサートドライバー	1
02-029-29-3000	脛骨非ロッキングインパクター	1
10-321-00-0001	器具トレー蓋、フル	1
02-029-01-0020	Truliant 脛骨調製器具トレー、下側	1
02-029-01-0021	Truliant 脛骨調製器具トレー、上側	1

\* 特別注文のみ

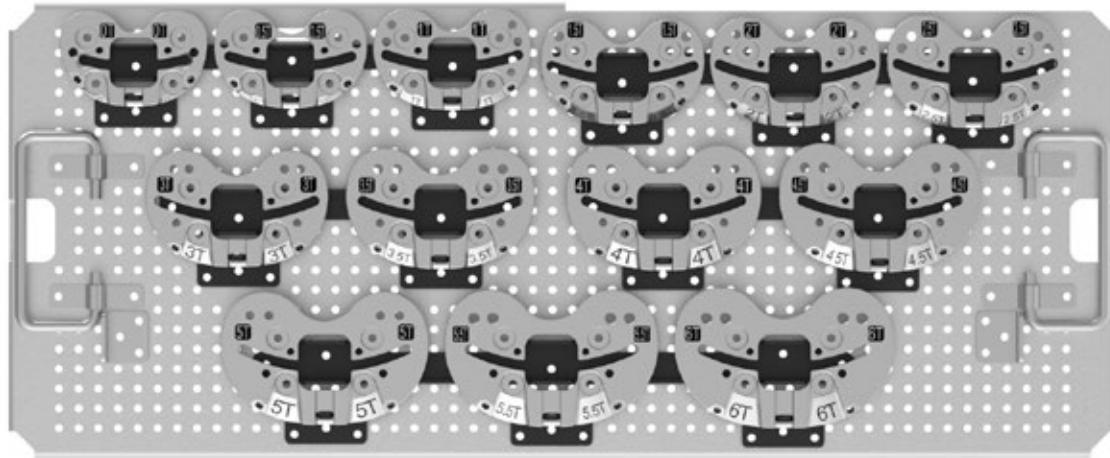
## トレーのレイアウト



**KIT-271C Truliant ユニバーサルトライアル器具トレー**

品目	品目説明	数
02-029-15-1010	モジュラーダ腿骨トライアル、サイズ 1	1
02-029-15-1015	モジュラーダ腿骨トライアル、サイズ 1.5	1
02-029-15-1020	モジュラーダ腿骨トライアル、サイズ 2	1
02-029-15-1025	モジュラーダ腿骨トライアル、サイズ 2.5	1
02-029-15-1030	モジュラーダ腿骨トライアル、サイズ 3	1
02-029-15-1035	モジュラーダ腿骨トライアル、サイズ 3.5	1
02-029-15-1040	モジュラーダ腿骨トライアル、サイズ 4	1
02-029-15-1045	モジュラーダ腿骨トライアル、サイズ 4.5	1
02-029-15-1050	モジュラーダ腿骨トライアル、サイズ 5	1
02-029-25-1005	トレートライアル、サイズ 0.5	1
02-029-25-1010	トレートライアル、サイズ 1	1
02-029-25-1015	トレートライアル、サイズ 1.5	1
02-029-25-1020	トレートライアル、サイズ 2	1
02-029-25-1025	トレートライアル、サイズ 2.5	1
02-029-25-1030	トレートライアル、サイズ 3	1
02-029-25-1035	トレートライアル、サイズ 3.5	1
02-029-25-1040	トレートライアル、サイズ 4	1
02-029-25-1045	トレートライアル、サイズ 4.5	1
02-029-25-1050	トレートライアル、サイズ 5	1
02-029-25-1055	トレートライアル、サイズ 5.5	1
02-029-25-4010	脛骨トライアル／インプラントアダプタープレート、サイズ 1	1
02-029-25-4015	脛骨トライアル／インプラントアダプタープレート、サイズ 1.5	1
02-029-25-4020	脛骨トライアル／インプラントアダプタープレート、サイズ 2	1
02-029-25-4025	脛骨トライアル／インプラントアダプタープレート、サイズ 2.5	1
02-029-25-4030	脛骨トライアル／インプラントアダプタープレート、サイズ 3	1
02-029-25-4035	脛骨トライアル／インプラントアダプタープレート、サイズ 3.5	1
02-029-25-4040	脛骨トライアル／インプラントアダプタープレート、サイズ 4	1
02-029-25-4045	脛骨トライアル／インプラントアダプタープレート、サイズ 4.5	1
02-029-25-4050	脛骨トライアル／インプラントアダプタープレート、サイズ 5	1

\* 特別注文のみ

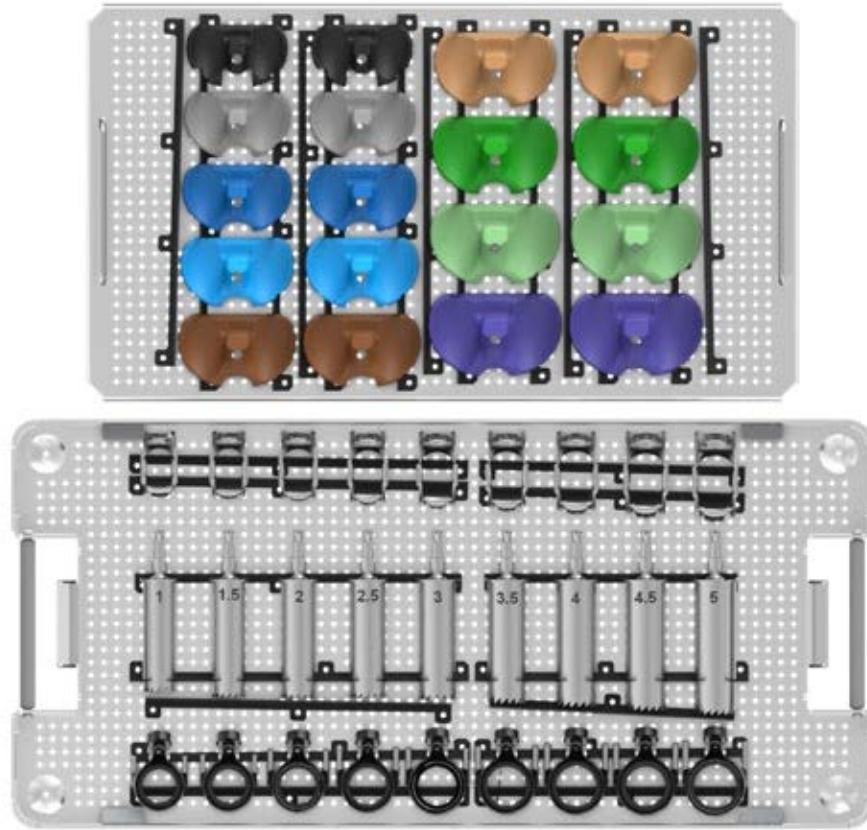


### KIT-217C Truliant ユニバーサルトライアル器具トレー（続き）

02-029-25-2709	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 1～2.5、9 mm	1
02-029-25-2710	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 1～2.5、10 mm	1
02-029-25-2711	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 1～2.5、11 mm	1
02-029-25-2712	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 1～2.5、12 mm	1
02-029-25-2713	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 1～2.5、13 mm	1
02-029-25-2715	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 1～2.5、15 mm	1
02-029-25-2717	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 1～2.5、17 mm	1
02-029-25-2719	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 1～2.5、19 mm	1
02-029-25-2809	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 3～4.5、9 mm	1
02-029-25-2810	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 3～4.5、10 mm	1
02-029-25-2811	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 3～4.5、11 mm	1
02-029-25-2812	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 3～4.5、12 mm	1
02-029-25-2813	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 3～4.5、13 mm	1
02-029-25-2815	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 3～4.5、15 mm	1
02-029-25-2817	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 3～4.5、17 mm	1
02-029-25-2819	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 3～4.5、19 mm	1
02-029-25-2909	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 5～6、9 mm	1
02-029-25-2910	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 5～6、10 mm	1
02-029-25-2911	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 5～6、11 mm	1
02-029-25-2912	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 5～6、12 mm	1
02-029-25-2913	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 5～6、13 mm	1
02-029-25-2915	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 5～6、15 mm	1
02-029-25-2917	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 5～6、17 mm	1
02-029-25-2919	Truliant 脂骨インサートトライアルシム、サイズ 5～6、19 mm	1
02-029-19-1200	大腿骨トライアルエキストラクター	1
10-321-00-0001	器具トレー蓋、フル	1
02-029-01-0030	Truliant コモントライアル器具トレー、下側	1
02-029-01-0031	Truliant コモントライアル器具トレー、上側	1

\* 特別注文のみ

## トレーのレイアウト



**KIT-275PS Trulant PS 器具トレー**

品目	品目説明	数
02-029-15-2010	PS モジュラーノッチガイド、サイズ 1	1
02-029-15-2015	PS モジュラーノッチガイド、サイズ 1.5	1
02-029-15-2020	PS モジュラーノッチガイド、サイズ 2	1
02-029-15-2025	PS モジュラーノッチガイド、サイズ 2.5	1
02-029-15-2030	PS モジュラーノッチガイド、サイズ 3	1
02-029-15-2035	PS モジュラーノッチガイド、サイズ 3.5	1
02-029-15-2040	PS モジュラーノッチガイド、サイズ 4	1
02-029-15-2045	PS モジュラーノッチガイド、サイズ 4.5	1
02-029-15-2050	PS モジュラーノッチガイド、サイズ 5	1
02-029-15-3010	PS ノッチリーマー、サイズ 1	1
02-029-15-3015	PS ノッチリーマー、サイズ 1.5	1
02-029-15-3020	PS ノッチリーマー、サイズ 2	1

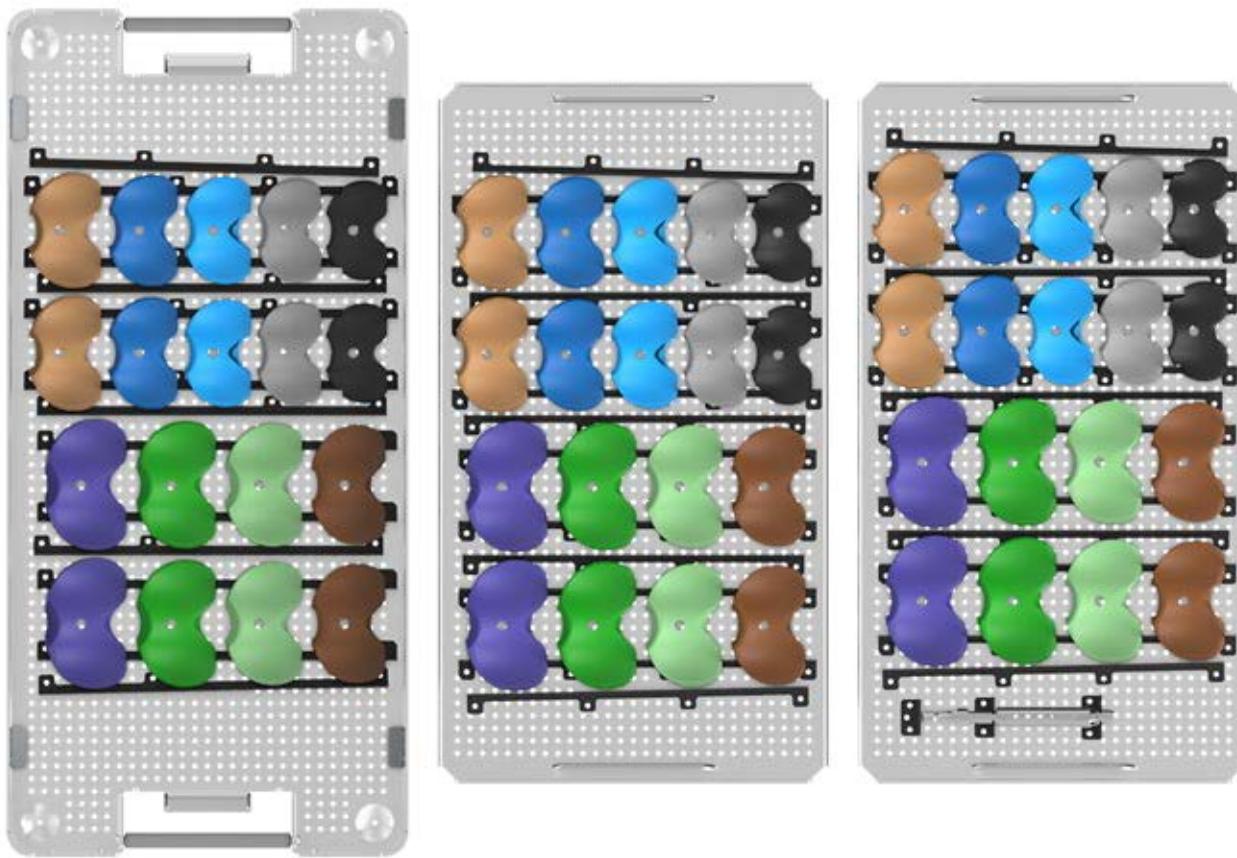
\* 特別注文のみ

## KIT-275PS Trulant PS 器具トレー（続き）

02-029-15-3025	PS ノッチリーマー、サイズ 2.5	1
02-029-15-3030	PS ノッチリーマー、サイズ 3	1
02-029-15-3035	PS ノッチリーマー、サイズ 3.5	1
02-029-15-3040	PS ノッチリーマー、サイズ 4	1
02-029-15-3045	PS ノッチリーマー、サイズ 4.5	1
02-029-15-3050	PS ノックストライアル、サイズ 5	1
02-029-15-4010	PS ボックスストライアル、サイズ 1	1
02-029-15-4015	PS ボックスストライアル、サイズ 1.5	1
02-029-15-4020	PS ボックスストライアル、サイズ 2	1
02-029-15-4025	PS ボックスストライアル、サイズ 2.5	1
02-029-15-4030	PS ボックスストライアル、サイズ 3	1
02-029-15-4035	PS ボックスストライアル、サイズ 3.5	1
02-029-15-4040	PS ボックスストライアル、サイズ 4	1
02-029-15-4045	PS ボックスストライアル、サイズ 4.5	1
02-029-15-4050	PS ボックスストライアル、サイズ 5	1
02-029-25-3510	PS サイズ 1 インサートトライアルトッパー	2
02-029-25-3515	PS サイズ 1.5 インサートトライアルトッパー	2
02-029-25-3520	PS サイズ 2 インサートトライアルトッパー	2
02-029-25-3525	PS サイズ 2.5 インサートトライアルトッパー	2
02-029-25-3530	PS サイズ 3 インサートトライアルトッパー	2
02-029-25-3535	PS サイズ 3.5 インサートトライアルトッパー	2
02-029-25-3540	PS サイズ 4 インサートトライアルトッパー	2
02-029-25-3545	PS サイズ 4.5 インサートトライアルトッパー	2
02-029-25-3550	PS サイズ 5 インサートトライアルトッパー	2
10-321-00-0001	器具トレー蓋、フル	1
02-029-01-0040	Trulant PS 器具トレー、下側	1
02-029-01-0041	Trulant PS 器具トレー、上側	1

\* 特別注文のみ

## トレーのレイアウト



**KIT-273CR Truliant CR 器具トレー**

品目	品目説明	数
02-029-25-3110	脛骨インサートトライアルトッパー、CR ニュートラル、サイズ 1	2
02-029-25-3115	脛骨インサートトライアルトッパー、CR ニュートラル、サイズ 1.5	2
02-029-25-3120	脛骨インサートトライアルトッパー、CR ニュートラル、サイズ 2	2
02-029-25-3125	脛骨インサートトライアルトッパー、CR ニュートラル、サイズ 2.5	2
02-029-25-3130	脛骨インサートトライアルトッパー、CR ニュートラル、サイズ 3	2
02-029-25-3135	脛骨インサートトライアルトッパー、CR ニュートラル、サイズ 3.5	2
02-029-25-3140	脛骨インサートトライアルトッパー、CR ニュートラル、サイズ 4	2
02-029-25-3145	脛骨インサートトライアルトッパー、CR ニュートラル、サイズ 4.5	2
02-029-25-3150	脛骨インサートトライアルトッパー、CR ニュートラル、サイズ 5	2
02-029-25-3210	脛骨インサートトライアルトッパー、CR スロープ+、サイズ 1	2
02-029-25-3215	脛骨インサートトライアルトッパー、CR スロープ+、サイズ 1.5	2
02-029-25-3220	脛骨インサートトライアルトッパー、CR スロープ+、サイズ 2	2

\* 特別注文のみ

**KIT-273CR Truliant CR 器具トレー（続き）**

02-029-25-3225	脛骨インサートトライアルトッパー、CRスロープ+、サイズ2.5	2
02-029-25-3230	脛骨インサートトライアルトッパー、CRスロープ+、サイズ3	2
02-029-25-3235	脛骨インサートトライアルトッパー、CRスロープ+、サイズ3.5	2
02-029-25-3240	脛骨インサートトライアルトッパー、CRスロープ+、サイズ4	2
02-029-25-3245	脛骨インサートトライアルトッパー、CRスロープ+、サイズ4.5	2
02-029-25-3250	脛骨インサートトライアルトッパー、CRスロープ+、サイズ5	2
02-029-25-3310	脛骨インサートトライアルトッパー、CRスロープ++、サイズ1	2
02-029-25-3315	脛骨インサートトライアルトッパー、CRスロープ++、サイズ1.5	2
02-029-25-3320	脛骨インサートトライアルトッパー、CRスロープ++、サイズ2	2
02-029-25-3325	脛骨インサートトライアルトッパー、CRスロープ++、サイズ2.5	2
02-029-25-3330	脛骨インサートトライアルトッパー、CRスロープ++、サイズ3	2
02-029-25-3335	脛骨インサートトライアルトッパー、CRスロープ++、サイズ3.5	2
02-029-25-3340	脛骨インサートトライアルトッパー、CRスロープ++、サイズ4	2
02-029-25-3345	脛骨インサートトライアルトッパー、CRスロープ++、サイズ4.5	2
02-029-25-3350	脛骨インサートトライアルトッパー、CRスロープ++、サイズ5	2
02-029-19-2000	CR 大腿骨ペグドリル	1
10-321-00-0001	器具トレー蓋、フル	1
02-029-01-0060	Truliant CR 器具トレー、下側	1
02-029-01-0061	Truliant CR 器具トレー、中間	1
02-029-01-0062	Truliant CR 器具トレー、上側	1

\* 特別注文のみ

## トレーのレイアウト

### KIT-275PSC Truliant PSC 器具トレー

品目	品目説明	数
02-029-25-3610	PSC サイズ 1、インサートトライアルトッパー	2
02-029-25-3615	PSC サイズ 1.5、インサートトライアルトッパー	2
02-029-25-3620	PSC サイズ 2、インサートトライアルトッパー	2
02-029-25-3625	PSC サイズ 2.5、インサートトライアルトッパー	2
02-029-25-3630	PSC サイズ 3、インサートトライアルトッパー	2
02-029-25-3635	PSC サイズ 3.5、インサートトライアルトッパー	2
02-029-25-3640	PSC サイズ 4、インサートトライアルトッパー	2
02-029-25-3645	PSC サイズ 4.5、インサートトライアルトッパー	2
02-029-25-3650	PSC サイズ 5、インサートトライアルトッパー	2
02-029-01-0050	Truliant PSC 器具トレー、下側	1
02-029-01-0051	Truliant PSC 器具トレー、上側	1
10-322-00-0001	器具トレー蓋、ハーフ	1

### KIT-273CRC Truliant CRC 器具トレー

品目	品目説明	数
02-029-25-3410	脛骨インサートトライアルトッパー、CRC、サイズ 1	2
02-029-25-3415	脛骨インサートトライアルトッパー、CRC、サイズ 1.5	2
02-029-25-3420	脛骨インサートトライアルトッパー、CRC、サイズ 2	2
02-029-25-3425	脛骨インサートトライアルトッパー、CRC、サイズ 2.5	2
02-029-25-3430	脛骨インサートトライアルトッパー、CRC、サイズ 3	2
02-029-25-3435	脛骨インサートトライアルトッパー、CRC、サイズ 3.5	2
02-029-25-3440	脛骨インサートトライアルトッパー、CRC、サイズ 4	2
02-029-25-3445	脛骨インサートトライアルトッパー、CRC、サイズ 4.5	2
02-029-25-3450	脛骨インサートトライアルトッパー、CRC、サイズ 5	2
02-029-01-0070	Truliant CRC 器具トレー、下側	1
02-029-01-0071	Truliant CRC 器具トレー、上側	1
10-322-00-0001	器具トレー蓋、ハーフ	1
02-029-19-2000	Truliant CR 大腿骨ペグドリル	1

\* 特別注文のみ

## トレーのレイアウト

### OPT-271\_0 Truliant サイズ 0 器具トレー

品目	品目説明	数
02-029-13-8000	DF フォーインワンカッティングブロック、サイズ 0	1
02-029-15-1000	ユニバーサル大腿骨トライアル、サイズ 0	1
02-029-25-1000	脛骨ベースプレートトライアル、6T	1
02-029-25-2009	脛骨インサートトライアルシム、サイズ 0、9 mm	1
02-029-25-2010	脛骨インサートトライアルシム、サイズ 0、10 mm	1
02-029-25-2011	脛骨インサートトライアルシム、サイズ 0、11 mm	1
02-029-25-2012	脛骨インサートトライアルシム、サイズ 0、12 mm	1
02-029-25-2013	脛骨インサートトライアルシム、サイズ 0、13 mm	1
02-029-25-2015	脛骨インサートトライアルシム、サイズ 0、15 mm	1
02-029-25-2017	脛骨インサートトライアルシム、サイズ 0、17 mm	1
02-029-25-2019	脛骨インサートトライアルシム、サイズ 0、19 mm	1
02-029-25-3100	脛骨インサートトライアルトッパー、CR ニュートラル、サイズ 0	2
02-029-25-3200	脛骨インサートトライアルトッパー、CR スロープ+、サイズ 0	2
02-029-25-3300	脛骨インサートトライアルトッパー、CR スロープ++、サイズ 0	2
02-029-25-3400	脛骨インサートトライアルトッパー、CRC、サイズ 0	2
02-029-25-3500	脛骨インサートトライアルトッパー、PS、サイズ 0	2
02-029-25-3600	脛骨インサートトライアルトッパー、PSC、サイズ 0	2
02-029-25-4000	脛骨トライアル／インプラントアダプターブレード、サイズ 0	1
02-029-15-2000	モジュラー PS ノッチガイド、サイズ 0	1
02-029-15-3000	PS ノッチリーマー、サイズ 0	1
02-029-15-4000	モジュラー PS カム、サイズ 0	1

### OPT-271\_6 Truliant サイズ 6 器具トレー

品目	品目説明	数
02-029-13-8060	DF フォーインワンカッティングブロック、サイズ 6	1
02-029-15-1060	ユニバーサル大腿骨トライアル、サイズ 6	1
02-029-25-1060	脛骨ベースプレートトライアル、6T	1
02-029-25-3160	脛骨インサートトライアルトッパー、CR ニュートラル、サイズ 6	2
02-029-25-3260	脛骨インサートトライアルトッパー、CR スロープ+、サイズ 6	2
02-029-25-3360	脛骨インサートトライアルトッパー、CR スロープ++、サイズ 6	2
02-029-25-3460	脛骨インサートトライアルトッパー、CRC、サイズ 6	2
02-029-25-3560	脛骨インサートトライアルトッパー、PS、サイズ 6	2
02-029-25-3660	脛骨インサートトライアルトッパー、PSC、サイズ 6	2
02-029-25-4060	脛骨トライアル／インプラントアダプターブレード、サイズ 6	1
02-029-15-2060	モジュラー PS ノッチガイド、サイズ 6	1
02-029-15-3060	PS ノッチリーマー、サイズ 6	1
02-029-15-4060	モジュラー PS カム、サイズ 6	1

\* 特別注文のみ

Exactech, Inc. の営業所および販売拠点は世界各地に存在します。お住まいの地域で入手いただける Exactech 製品についての詳細は、[www.exac.com](http://www.exac.com) からご覧ください。

---

装置のさらに詳しい情報については、Truliant 膝システムの取扱説明書に装置の説明、適応、禁忌、使用上の注意および警告が記載されています。さらに詳細な製品情報については、Exactech, Inc. のカスタマーサービス 2320 NW 66th Court, Gainesville, Florida 32653-1630, USA, (352)377-1140、(800)392-2832 またはファックス番号 (352)378-2617 までお問い合わせください。

本装置の製造元である Exactech は、医療行為を行うものではなく、個別の患者に対して適切な外科手術手技を用いることを推奨するわけではありません。本ガイドラインは情報提供のみを目的としているため、各医師はそれぞれの研修や医療経験に基づいて、これらガイドラインの適性を判断する必要があります。本システムの使用前に、医師は、警告、使用上の注意、適応、副作用および禁忌について製品パッケージ付属書類を参照しなければなりません。

本書で言及される製品は、国によって異なる商標で販売されている可能性があります。すべての著作権、申請中および登録済みの商標は、Exactech, Inc. に帰属します。本資料は、Exactech 販売担当者および医師の使用および利益のみを意図しています。Exactech, Inc. による明示的な書面許可なしに本書を再配布、複写、開示できません。©2021 Exactech, Inc. 00-0000986 Rev. A 0621.



EXACTECH, INC.  
2320 NW 66TH COURT  
GAINESVILLE, FL 32653 USA  
+1 352.377.1140  
+1 800.EXACTECH  
+1 352.378.2617 FAX  
[www.exac.com](http://www.exac.com)